

〈別表2〉

令和2年度三重県立高等学校入学選抜で前期選抜を実施する高等学校の
「学校の特徴」「選抜において重視する要件」「検査内容」「選抜方法」一覧

全日制課程

《桑名高等学校》

学 校 の 特 色
<p>本校は、普通科・理数科・衛生看護科があり、生徒数1160人余の県立高校として最大規模の学校です。</p> <p>普通科・理数科は、入学する生徒のほぼ全員が大学への進学を希望しています。創立100年を超えた伝統的な進学校として、学習指導と進路指導を中心に進学体制を充実させ、国公立大学や難関私立大学への進路希望を実現しています。</p> <p>衛生看護科は、県内唯一の学科として、心身ともに健全で優れた看護サービスを提供できる人間性豊かな看護師の養成を目指し、5年一貫教育を行っています。衛生看護科の3年間と衛生看護専攻科の2年間の学習を終え、毎年2月下旬に実施される看護師国家試験に合格して看護師の資格を取得することになります。学習内容は普通教科と看護の専門教科があり、専門教科は医師や薬剤師、臨床検査技師など外部講師による授業があります。また、長期間にわたって実践的な学習を行う臨地実習もあります。</p> <p>学校全体として、部活動も盛んであり、文武両道を目指し、毎年多くの運動系・文化系の部活動が東海大会や全国大会に出場し活躍しています。</p>

選抜において重視する要件
<p>(衛生看護科)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 看護師志望が明確で、高校生活にしっかりとした目標・目的意識をもった者 ○ 全ての教科に対して真面目に学習活動に取り組める者 ○ 部活動、生徒会活動、ボランティア活動等に積極的に取り組める者

学 科 名	検 査	実 施 概 要
衛生看護科	面 接	集団面接（1グループ20分程度） コミュニケーション能力など看護師としての適性や意欲について応答する。
	小 論 文	45分・400字程度 自分の考えを述べる問題。
	学力検査	数学、英語

学 科 名	選 抜 方 法
衛生看護科	<p>1 選抜資料の取扱い</p> <p>(1) 調 査 書 点数化する。（第3学年の各教科の評定の合計 45点満点）</p> <p>(2) 面 接 A、B、Cの3段階で評価する。</p> <p>(3) 小 論 文 点数化する。（25点満点）</p> <p>(4) 学力検査 100点（数学50点、英語50点）</p>
	<p>2 選抜方法</p> <p>次の各段階に該当する受検者について順に、調査書及び「自己推薦書」の記載事項を考慮して総合的に選抜する。</p> <p>(1) 第1段階 調査書得点の順位が募集人数のおよそ100%以内であることと、学力検査得点と小論文得点の合計の順位が募集人数のおよそ80%以内であることの両方の条件を満たす者のうち、面接の評価がB段階以上である者</p> <p>(2) 第2段階 第1段階において合格となった者を除く全ての受検者</p>

《桑名北高等学校》

学 校 の 特 色
<p>本校では、次の二つの特色を生かして生徒が輝く学校づくりに挑戦し続けています。</p> <p>一つ目は、「生徒一人ひとりの進路実現を目指す学校」であることです。外部テストも利用した学習実態調査や補習の実施により、中学校までの学習でつまづいた所やわからない所の学び直しなど、基礎・基本の定着を図ります。また、日々の授業において「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指し、生徒が能動的・積極的に学べる授業づくりに取り組みます。そして、2学年からチャレンジクラスとカレッジクラスに分かれることにより、個々の生徒の進路実現を全力で支援していきます。</p> <p>二つ目は、「人と人とのつながりの大切さを学ぶ学校」であることです。総合的な探究の時間（みらい）では自己理解・他者理解、人間関係をつくる力の育成をねらいとした学習内容により、自分の在り方・生き方についてじっくり考え気付かせていきます。また、学校設定科目「コミュニケーション授業」では保育所の園児との交流を通して、自分が必要とされる喜びを体感させるとともに、コミュニケーション能力の育成を目指しています。</p> <p>これら二つの特色を達成するために、学校として頭髪服装等の身だしなみに関する指導や遅刻をなくす指導、授業規律確立やあいさつ運動など「良い習慣」の確立に向けた指導にも力を入れています。</p>

選抜において重視する要件
<p>(普通科)</p> <p>規範意識や基本的な生活習慣が身につけており、以下のことに熱意をもって取り組める者</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 大学進学など、明確な進路意識をもって学業に取り組める者 ○ 部活動に積極的に取り組み、継続して活動する意欲のある者 ○ 生徒会活動、ボランティア活動などに積極的に取り組める者

学科名	検 査	実 施 概 要
普通科	面 接	個人面接（10分程度） 規範意識や高校生活への意欲等について応答する。
	作 文	45分・400～600字

学科名	選 抜 方 法				
普通科	<p>1 選抜資料の取扱い</p> <p>(1) 調査書 点数化する。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: right;"> 評定（第1～3学年の各教科の評定を換算） 評定以外の記載事項 </td> <td style="text-align: right; vertical-align: bottom;"> 75点満点 最高 25点 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; border-top: 1px solid black;"> 合 計 </td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;"> 100点 </td> </tr> </table> <p>(2) 面 接 A、B、C、D、Eの5段階で評価する。</p> <p>(3) 作 文 A、B、C、D、Eの5段階で評価する。</p>	評定（第1～3学年の各教科の評定を換算） 評定以外の記載事項	75点満点 最高 25点	合 計	100点
	評定（第1～3学年の各教科の評定を換算） 評定以外の記載事項	75点満点 最高 25点			
合 計	100点				
	<p>2 選抜方法</p> <p>(1)調査書得点、(2)面接及び(3)作文の評価並びに調査書及び「自己推薦書」の記載事項を考慮して総合的に選抜する。</p>				

《桑名工業高等学校》

学 校 の 特 色
<p>工業教育の基本理念である「ものづくり」を本校教育の根幹に位置づけ、「ものづくり」を通して技術と人格を磨き、地域産業の活性化を担うことのできる人材の育成を目指しています。</p> <p>そのため、「地域と歩むものづくり」をキャッチフレーズに、地域や企業と連携し、「インターンシップ」や「桑名版デュアルシステム」を学習内容に取り入れ、実際の・実践的なキャリア教育を推進し、生徒の興味・関心や適性に応じた進路実現に取り組んでいます。</p> <p>また、部活動をはじめ、資格取得や各種ものづくり競技会等に取り組む生徒への支援も積極的に行っています。</p> <p>さらに、生徒一人ひとりに正しい倫理観や道徳観を身につけさせ、基本的な生活習慣を確立させることを大切に考え、人の気持ちを思いやることのできる人間教育にも力を注いでいます。</p>

選抜において重視する要件
<p>〔機械科、材料技術科、電気科、電子科共通〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「ものづくり」に興味があり、「専門的な知識や技術を身につけることによって、将来地域社会で活躍をしたい」、「大学への進学を目指し、より高度な技術を身につけたい」と考えている者 ○ 入学後、部活動が続けることにより、生き生きとした高校生活を送りたいと考えている者 ○ 様々な資格取得やものづくり競技会に挑戦し、自分を高めようとする積極的な意志がある者

学 科 名	検 査	実 施 概 要
機 械 科 材 料 技 術 科 電 気 科	面 接	個人面接（10分程度） 志望動機、本校への関心・意欲、将来の目標等について応答する。
電 子 科	作 文	45分・320～400字

学 科 名	選 抜 方 法						
機 械 科 材 料 技 術 科 電 気 科 電 子 科	<p>1 選抜資料の取扱い</p> <p>(1) 調査書 点数化する。</p> <table style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>評定（第3学年の各教科の評定の合計）</td> <td style="text-align: right;">45点満点</td> </tr> <tr> <td>評定以外の記載事項</td> <td style="text-align: right;">最高 20点</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td style="text-align: right;">65点</td> </tr> </table> <p>(2) 面 接 次の5つの項目について、A、B、Cの3段階で評価し、点数化する。（20点満点）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本校を志望する動機 ・ 自分自身についての理解 ・ 高校生活への抱負 ・ 表現力 ・ 面接態度 <p>(3) 作 文 次の2つの項目について、A、B、Cの3段階で評価し、点数化する。（15点満点）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 記述されている内容 ・ 表現の正確さ <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>2 選抜方法</p> <p>(1)～(3)の合計点数をもとに、調査書及び「自己推薦書」の記載事項を考慮して総合的に選抜する。</p>	評定（第3学年の各教科の評定の合計）	45点満点	評定以外の記載事項	最高 20点	合 計	65点
評定（第3学年の各教科の評定の合計）	45点満点						
評定以外の記載事項	最高 20点						
合 計	65点						

《いなべ総合学園高等学校》

学 校 の 特 色

- 本校は全国でも有数の大規模総合学科高等学校として、平成13年度に開校しました。北勢地区唯一の総合学科高校として、生徒の多様な進路希望が実現できるよう、130余りの多様な科目を開設しています。
- 総合学科特有の授業等を通じて、生徒一人ひとりが自分の進路を選択し、進路希望に合わせて科目を選択できるよう、チューター（中学校での担任のような存在）によるきめ細かな指導を行っています。また、社会人講師による講演や実習などによるキャリア教育の充実、地元の大学との連携による進学指導の充実にも力を入れています。
- 本校生徒の進路先は、大学・短大がおよそ40%、専門・各種学校がおよそ30%、就職がおよそ30%で、特色ある学びのシステムにより、幅広い進路実現を可能にしています。
- 部活動もとても盛んで、充実した施設設備を活用して、多数の運動系クラブが全国大会、東海大会、県大会等に出場し、好成績を残しています。文化系クラブも地域に貢献する活動を積極的に行うなど、明るく生き生きとした学校の雰囲気を作り出しています。
- いなべ・東員地区唯一の高等学校として、地域に根ざし開かれた信頼される学校を目指して「公開講座」を実施するなど、生涯学習の拠点としての役割を担っています。

選抜において重視する要件

(総合学科)

〔総合的観点〕

- ◎ 基本的な生活習慣が身につけており、本校のカリキュラム・学習内容・部活動等教育活動全般に対して強い興味・関心をもつ者で、かつ入学後、意欲的に学校生活を送る意志のある者

〔個別観点〕

『学習について』

- 国語・社会・数学・理科・英語・芸術・体育等の各教科に関わって、優れた資質を持ち、得意分野の中から入学後も学習活動に意欲的である者
- 全ての教科に対して真面目に学習活動に取り組める者

『部活動について』

- 県大会等で優れた実績があり、入学後もその活動を継続して行う意志のある者
- 個々の部活動において、3年間継続して活動する意志のある者

『学校生活について』

- 生徒会活動・学級活動で実績のある者
- ボランティア活動・人権活動に積極的に取り組める者

『進路について』

- 将来、地域社会の一員として社会貢献をする意欲のある者
- 向上心を持って自分の夢の実現に努力する者
- 四年制大学に進学を希望し、意欲的に学習に取り組める者

《いなべ総合学園高等学校》

学科名	検査	実施概要		
総合学科	I	面接	個人面接（1分の自己アピールを含めて10分程度） 総合学科での学習に対する興味・関心や意欲、進路に関する目的意識等について 応答する。	
		作文	45分・600～800字	
	II	作文	45分・600～800字	
		次のいずれか1つを事前に選択する。	実技検査 芸術（美術）	検査時間：120分（休憩を含む） 内容：静物デッサン、デッサンについての感想文（10分） 持参用具：鉛筆、消しゴム（練り消しゴム可） ※高等学校で用意するもの：用紙（B3ケント紙ボード）
		実技検査 芸術（書道）	検査時間：120分（休憩を含む） 内容：実技〔毛筆（半紙）・硬筆〕、実技作品についての感想文（10分） 持参用具：太筆、細筆、墨汁、硯、鉛筆、消しゴム、定規、練習用紙 ※高等学校で用意するもの：文鎮、下敷き、清書用紙	
		実技検査 体育	1 共通検査： 25m往復走、反復横跳び、立ち幅跳び、長座体前屈を全ての志願者に課す。 2 選択種目検査： ① 次の種目から、志願者が事前に選択した1種目とする。 陸上競技（100m走、800m走、砲丸投げ、走り高跳び、走り幅跳び）・ サッカー・バスケットボール・バレーボール・卓球・バドミントン・ ソフトボール・器械運動（マット運動）・剣道・レスリング・ゴルフ・ ハンドボール・ソフトテニス ※陸上競技は、（ ）内の5種目から1種目を選択する。 ② 内容は、基本的な技能・技術・動作を中心とする。	
総合問題	次の2分野（A・B）の中から1分野を事前に選択する。 A：（国語・社会・英語）60分 B：（数学・理科・英語）60分			

学科名	選抜方法	
総合学科	I	1 選抜資料の取扱い (1) 調査書 点数化する。 評定（第3学年の各教科の評定の合計を2倍） 90点満点 学級活動・生徒会活動、取得資格、 スポーツ・文化・社会活動の実績 最高 10点 合 計 100点 (2) 面接 A、B、C、Dの4段階で評価し、点数化する。（10点満点） (3) 作文 A、B、C、Dの4段階で評価し、点数化する。（10点満点）
		2 選抜方法 (1)～(3)の合計点数をもとに、面接及び作文の評価、調査書、「自己推薦書」の記載事項を考慮して総合的に選抜する。
		II
	2 選抜方法 (1)①の評定得点と(1)②、(2)、(3)の合計点数の2つをもとに、作文の評価、調査書、「自己推薦書」の記載事項を考慮して総合的に選抜する。	

《四日市西高等学校》

学 校 の 特 色
<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒一人ひとりが西高の「顔」として、誇りと自信をもった高校生として生活できるよう、特に、正しく制服が着用できる指導、頭髪指導、挨拶運動、遅刻防止指導に力を入れています。 ○ 家庭学習を定着させるため、英・数・国の課題を毎週決まった曜日に提出します。課題未提出者には「居残り学習」を行います。ルールを守って全員が提出することを目指しています。地道に課題に取り組むことで生徒一人ひとりの学力が目に見える形で向上するように取り組んでいます。 ○ 50分の授業を大切にするため、授業開始の2分前の予鈴で教室に入り、チャイムとともに授業を開始しています。比較文化・歴史、数理情報の2コースは週1回の7限目授業を実施しています。 ○ 生徒の進路希望実現のため、1学年より模試を受け、また進路面談に力を注ぎ、系統だったキャリア教育を実践しています。その結果として、国公立大学、難関私立大学に合格者を出しています。 ○ 恵まれた施設・設備を生かした部活動は活発です。それぞれの部で目指す目標は異なりますが、部活動と学習を両立させて進路自己実現を果たした生徒は増加しています。充実した3年間を過ごすためにも、部活動を学校を挙げて奨励しています。 ○ 後期選抜において、比較文化・歴史、数理情報の2コースは、くくり募集とします。

選抜において重視する要件
[普通科・比較文化・歴史コース、普通科・数理情報コース共通] ○ 国公立大学、難関私立大学への進路を希望し、意欲的・継続的に学業に取り組める者

学科・コース名	検 査	実 施 概 要
普通科・比較文化・歴史コース	面 接	集団面接（15分程度） 志望動機、将来の進路希望、学業への意欲等について応答する。
	学力検査	国語、英語
普通科・数理情報コース	面 接	集団面接（15分程度） 志望動機、将来の進路希望、学業への意欲等について応答する。
	学力検査	数学、英語

学科・コース名	選 抜 方 法
普通科・比較文化・歴史コース	1 選抜資料の取扱い (1) 調査書 点数化する。(第3学年の国語・社会・数学・理科・英語の評定の合計 25点満点) (2) 面 接 A、B、Cの3段階で評価する。 (3) 学力検査 100点(国語50点、英語50点)
	2 選抜方法 次の各段階に該当する受検者について順に、調査書及び「自己推薦書」の記載事項を考慮して総合的に選抜する。 (1) 第1段階 面接の評価がB段階以上である者のうち、調査書得点が18点以上であることと、学力検査得点の順位が募集人数のおよそ70%以内であることの両方の条件を満たす者 (2) 第2段階 第1段階において合格となった者を除く全ての受検者
普通科・数理情報コース	1 選抜資料の取扱い (1) 調査書 点数化する。(第3学年の国語・社会・数学・理科・英語の評定の合計 25点満点) (2) 面 接 A、B、Cの3段階で評価する。 (3) 学力検査 250点(数学50点を3倍、英語50点を2倍する。)
	2 選抜方法 比較文化・歴史コースと同じ。

《朝明高等学校》

学 校 の 特 色
<p>朝明高等学校は、昭和53年に創立され、今年で42年目を迎える高校です。豊かな自然環境の中に立地し、春は名物「千本桜」が満開になり、秋には校舎の周りの木々が見事に紅葉し、冬には雪の鈴鹿山脈がとてもきれいな、環境に恵まれたところにあります。</p> <p>普通科は、2年次より類型としてアスリート・チャレンジ・ビジネスの3つのコースを開設しています。</p> <p>アスリートコースは自転車競技部、レスリング部、ラグビー部など全国大会に出場し活躍しています。チャレンジコースは就職・進学に対応できる、より高い学力を身につけることを目指し、落ち着いて学習に取り組むコースです。またビジネスコースは基礎的な学力を定着させるとともに、ビジネス文書実務検定1級や簿記実務検定2級などの資格取得を目指し、社会人基礎力を身につけることを目的としています。</p> <p>ふくし科は、2年次より2つのコースに分かれます。一つは、介護福祉士の国家試験を受験し、合格を目指す介護福祉コース。もう一つは、福祉について幅広く学ぶ生涯福祉コースからなります。</p> <p>本校では「社会に貢献できる人間づくり」を目指して改革を進めており、生徒が良好な人間関係をつくりながら、充実した授業を受けられるように取り組んでいます。</p>

選抜において重視する要件
<p>(普通科)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 基本的な生活習慣が身につけており、積極的に学ぶ意欲のある者 ○ スポーツ・文化活動を継続して行う意欲のある者 <p>(ふくし科)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 福祉やボランティア活動に興味・関心を有する者 ○ 基本的な生活習慣が身につけており、積極的に学ぶ意欲のある者 ○ スポーツ・文化活動を継続して行う意欲のある者

学 科 名	検 査	実 施 概 要
普 通 科 ふくし科	面 接	個人面接（10分程度） 志望動機、学習活動、特技、部活動、将来の目標、自己アピール等について応答する。
	学力検査	国語

学 科 名	選 抜 方 法
普 通 科 ふくし科	<p>1 選抜資料の取扱い</p> <p>(1) 調査書 点数化する。(第3学年の各教科の評定の合計 45点満点)</p> <p>(2) 面接 A、B、C、Dの4段階で評価する。</p> <p>(3) 学力検査 国語の得点をA、B、C、Dの4段階で評価する。</p>
	<p>2 選抜方法</p> <p>次の各段階に該当する受検者について順に、調査書及び「自己推薦書」の記載事項を考慮して総合的に選抜する。</p> <p>(1) 第1段階 調査書得点の順位が募集人数のおよそ70%であることと、面接及び国語の評価がともにB段階以上であることの両方の条件を満たす者</p> <p>(2) 第2段階 調査書得点の順位が募集人数のおよそ90%であることと、面接及び国語の評価がともにC段階以上であることの両方の条件を満たす者のうち、調査書において、スポーツ・文化活動の実績が特にすぐれている旨の記載がある者</p> <p>(3) 第3段階 第1段階及び第2段階で合格となった者を除く全ての受検者</p>

《四日市四郷高等学校》

学 校 の 特 色

本校は、各学年に普通科と普通科・スポーツ科学コースを設置し、文化・スポーツ活動を通じ、自己実現に向かって努力する生徒、生涯にわたって学び続けることのできる生徒、互いの違いを認め合う心豊かな生徒の育成を目指しています。

生徒には部活動を奨励しており、多くの運動部や文化部が全国大会・東海大会等に出場するなど活躍しています。また、平成10年度から実施している「朝の読書」の取組も本校の特色の一つで、一日の生活を落ち着いた環境で始めることができるとともに、読書が好きになった、集中力がついた等、読書の大切さや良さが実感できる活動として定着しています。

学校生活においては、基本的な生活習慣の確立や規範意識の醸成（じょうせい）のため、マナーやルールを守る生徒の育成や服装頭髪指導、遅刻指導、あいさつの励行、授業規律の確立に全校で力を入れて取り組んでいます。また、基礎学力の定着と向上を目指し、学び直しや少人数による習熟度別学習、各教科の補習や課外授業などきめ細かな学習指導を実施しています。

進路面では、進学・就職両面の多様な進路希望に応えられるよう、進路説明会の充実や個別の面談を重視した、きめ細かな進路指導を進め、成果を上げています。

○ 普通科

2学年から生徒の興味・関心、意欲や進路希望等に基づき、多様な進路選択ができるよう、芸術コース・情報コース・文系コース・理系コースの4つの特色あるコースに分かれて学習します。

○ 普通科・スポーツ科学コース

スポーツ活動を通じた人づくりを目指します。多くの体育実技やスポーツ概論の授業があり、また、1年では水泳、2年ではゴルフ、3年ではスノーボードの体験実習を実施しています。

生徒たちの多くは各運動部の中心選手として活躍しています。

選抜において重視する要件

〔普通科、普通科・スポーツ科学コース共通〕

- 学習活動・部活動・特別活動に強い関心を持ち、意欲的に学校生活を送る意志のある者
- 将来、地域社会の一員として社会貢献する意欲のある者
- 明確な進路意識を持ち、その実現に向けて向上心をもって努力する者

（普通科）

- 各教科に対する優れた資質を持ち、入学後も学習活動に意欲的に取り組める者
- 芸術活動（音楽・美術・書道）に強い意欲・関心をもつ者
- 生徒会活動や部活動等に意欲的で、継続的に取り組む強い意志をもつ者

（普通科・スポーツ科学コース）

- 体育・スポーツ活動に強い興味・関心をもつ者
- 運動部の活動に意欲的で、3年間継続して取り組む強い意志をもつ者

学科・コース名	検 査	実 施 概 要
普 通 科	面 接	個人面接（5分程度） 「自己推薦書」の内容、学習活動、芸術活動、生徒会活動、部活動等への興味・関心・意欲、入学後の目標等について応答する。
	学力検査	国語
普通科・ スポーツ科学 コース	面 接	個人面接（5分程度） 「自己推薦書」の内容、スポーツ活動への興味・関心・意欲、入学後の目標等について応答する。
	実技検査	基本的な運動： 50m走、立ち幅跳び、ハンドボール投げ、反復横跳びを全員が受検する。 選択種目： 次の9種目の中から受検者が事前に選択した1種目を受検する。 内容は、基本的な技能・技術、動作を中心とする。 バスケットボール・ソフトボール・ハンドボール・テニス・サッカー・バレーボール・レスリング・体操・陸上競技（100m走、800m走、走り幅跳び、走り高跳び、砲丸投げの中から一つを選択する。） （注）陸上競技は、天候によっては一部の種目を変更することがある。 100m走→25m2往復走 800m走→シャトルラン 走り幅跳び→立ち三段跳び

《四日市四郷高等学校》

学科・ コース名	選 抜 方 法
普通科	<p>1 選抜資料の取扱い</p> <p>(1) 調査書 点数化する。 評定（第1～3学年の各教科の評定を換算） 90点満点 学級活動・生徒会活動、スポーツ・ 文化活動の実績、取得資格 最高 30点 合 計 120点</p> <p>(2) 面接 次の3つの項目について評価し、点数化する。（30点満点） ・ 学習活動や進路に対する目的意識 ・ 部活動や特別活動に対する興味・関心、意欲 ・ 面接態度</p> <p>(3) 学力検査 国語（50点満点）</p> <hr/> <p>2 選抜方法 (1)～(3)の合計点数をもとに、調査書及び「自己推薦書」の記載事項を考慮して総合的に選抜する。</p>
普通科・ スポーツ科学 コース	<p>1 選抜資料の取扱い</p> <p>(1) 調査書 点数化する。 評定（第1～3学年の各教科の評定を換算） 90点満点 学級活動・生徒会活動、スポーツ活動の実績 最高 50点 合 計 140点</p> <p>(2) 面接 次の3つの項目について評価し、点数化する。（30点満点） ・ 学習活動や進路に対する目的意識 ・ 部活動やスポーツに対する興味・関心、意欲 ・ 面接態度</p> <p>(3) 実技検査 90点</p> <hr/> <p>2 選抜方法 (1)～(3)の合計点数をもとに、調査書及び「自己推薦書」の記載事項を考慮して総合的に選抜する。</p>

《四日市工業高等学校》

学 校 の 特 色

- 本校には、物質工学科、機械科、電子機械科、電気科、電子工学科、建築科、自動車科の7学科があり、各学科の3学年では、進学希望者に対応するため、専門科目に替えて普通教科・科目の選択もできます。
- 「技術と精神（こころ）」を校訓に、工業各分野の知識・技術を習得し、地域社会に貢献できる技術者を育成します。
- ものづくりや各種職業資格の取得ができるよう積極的に取り組みます。
- 勉学・礼儀・責任・勤労の調和のとれた教育を推進するとともに、部活動を奨励し、学校行事を充実させ、心豊かな人間を育成します。
- 体育・スポーツを通して心身を鍛え、全国高等学校総合体育大会への出場等スポーツ振興に取り組んでいます。

選抜において重視する要件

〔物質工学科、機械科、電子機械科、電気科、電子工学科、建築科、自動車科共通〕

- 芸術・文化活動、生徒会活動、ボランティア活動、人権活動等で活躍し、高校生活においても活動する意欲があり、工業に関する学科に興味・関心のある者
- 体育・スポーツにおいてすぐれた実績があり、入学後も継続して活動する意志のある者。また、工業に関する学科に興味・関心がある者

（物質工学科）

- 物質工学（化学的技術・陶磁器技術）に強い興味・関心があり、資格取得に積極的に取り組むとともに、工業関係への進路を強く希望する者

（機械科）

- 数学や理科が得意で、機械に強い興味・関心があり、資格取得に積極的に取り組むとともに、工業関係への進路を強く希望する者

（電子機械科）

- 電子機械（ロボット技術・各種自動制御・情報技術等）に強い興味・関心があり、資格取得に積極的に取り組むとともに、工業関係への進路を強く希望する者

（電気科）

- 数学や理科が得意で、電気に強い興味・関心があり、学習に対して粘り強く努力でき、資格取得に積極的に取り組むとともに、工業関係への進路を強く希望する者

（電子工学科）

- 数学や理科が得意で、その知識を応用し伸ばそうとする意欲があり、電子工学に興味・関心がある者。また、工業関係への進路を強く希望する者

（建築科）

- 建築に興味・関心があり、各教科に対して真面目に学習でき、ものづくり・資格取得に積極的に取り組むとともに、工業関係への進路を強く希望する者

（自動車科）

- 自動車（構造・整備）に関する興味・関心が強く、その技術習得に熱心に取り組むとともに、工業関係への進路を強く希望する者

学 科 名	検 査	実 施 概 要
物質工学科 機 械 科 電子機械科 電 気 科	面 接	個人面接（7～8分） 志願学科への興味・関心・意欲、目的意識等について応答する。
電子工学科 建 築 科 自 動 車 科	作 文	45分・500字程度

《四日市工業高等学校》

学 科 名	選 抜 方 法
物質工学科 機 械 科 電子機械科 電 気 科 電子工学科 建 築 科 自 動 車 科	1 選抜資料の取扱い (1) 調 査 書 点数化する。(第1～3学年の各教科の評定の合計 135点満点) (2) 面 接 A、B、Cの3段階で評価する。 (3) 作 文 A、B、Cの3段階で評価する。 <hr/> 2 選抜方法 次の各段階に該当する受検者について順に、調査書及び「自己推薦書」の記載事項を考慮して総合的に選抜する。 (1) 第1段階 調査書得点の順位が募集人数の60%以内であることと、面接と作文の評価がともにB段階以上であることの両方の条件を満たす者 (2) 第2段階 面接の評価がB段階以上である者のうち、調査書の評定以外の記載事項において「選抜において重視する要件」に特に合致すると認められる者 (3) 第3段階 第1段階及び第2段階で合格となった者を除く全ての受検者

《四日市中央工業高等学校》

学 校 の 特 色
<p>昭和37年に創立された工業高校で、機械科・電気科・化学工学科・都市工学科・設備システム科の5学科を有しています。「四中工はあなたの能力を伸ばします。」を合言葉に、全教職員が一丸となって次のことに取り組んでいます。</p> <p>○ 豊かな人間性を備えた工業技術者の育成を目指し、資格取得や専門教育の充実に積極的に取り組んでいます。</p> <p>○ 進路は、就職者が約8割で、その多くが製造関係の仕事についています。希望者に対し10倍以上の求人があります。残りの約2割の進学者は、工学部に進む人や、引き続きスポーツを行うため文系の学部に進む人がいます。『進路パス』という進路の手引きを全学年に配付し、先輩との懇談会・企業セミナー・インターンシップなど様々なキャリア教育を行っています。</p> <p>○ 運動部活動が盛んで、サッカー部・ウエイトリフティング部・柔道部・水球部（本年度4つの部活動が三重県高等学校運動部強化指定事業で「強化指定運動部」として指定）が東海大会や全国大会で活躍しています。</p> <p>○ 工業高校の特徴である技術系部活動では、ロボット研究部が全国大会で活躍し、優勝するなどの実績を残しています。</p>

選抜において重視する要件
<p>[機械科、電気科、化学工学科、都市工学科、設備システム科共通]</p> <p>○ 工業学科への志望動機が明確であり、将来の進路に対する目標や目的意識をもっている者</p> <p>○ 工業学科の学習に興味・関心があり、資格取得等に意欲的に取り組める者</p> <p>○ 部活動やホームルーム活動等に積極的に取り組める者</p>

学 科 名	検 査	実 施 概 要
機 械 科 電 気 科 化学工学科 都市工学科 設備システム科	面 接	個人面接（7分程度） 志願学科に対する志望動機、目的意識、関心・意欲、将来の進路の目標等について応答する。
	作 文	45分・400字程度

学 科 名	選 抜 方 法						
機 械 科 電 気 科 化学工学科 都市工学科 設備システム科	<p>1 選抜資料の取扱い</p> <p>(1) 調 査 書 点数化する。</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>評定（第1～3学年の各教科の評定を換算）</td> <td style="text-align: right;">45点満点</td> </tr> <tr> <td>評定以外の記載事項</td> <td style="text-align: right;">最高 20点</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td style="text-align: right;">65点</td> </tr> </table> <p>(2) 面 接 次の5つの項目について評価し、点数化する。（25点満点）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 志望動機 ・ 進路目標 ・ 学習意欲 ・ 特別活動 ・ 態度等 <p>(3) 作 文 次の4つの項目について評価し、点数化する。（10点満点）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ テーマとの整合性 ・ 述べられている内容 ・ 文章の構成 ・ 表現の的確さ、明瞭さ <p>2 選抜方法</p> <p>(1)～(3)の合計点数をもとに、調査書及び「自己推薦書」の記載事項を考慮して総合的に選抜する。</p>	評定（第1～3学年の各教科の評定を換算）	45点満点	評定以外の記載事項	最高 20点	合 計	65点
評定（第1～3学年の各教科の評定を換算）	45点満点						
評定以外の記載事項	最高 20点						
合 計	65点						

《四日市商業高等学校》

学 校 の 特 色	
○	商業に関する専門高校です 本校は創立123周年を迎え、県内はもちろん全国的にも、歴史と伝統を誇る商業高校です。
○	校訓は「至誠」です 校訓「至誠」の精神をもとに、商業教育を通じて、知・徳・体・心の健全な成長を促し、礼儀を重んじ、誠実を旨とする専門性の高い職業人の育成に努めます。商業高校として、高校または大学卒業後の実社会で役立つよう、挨拶と礼儀を重視しています。
○	就職に強く、進学にも有利なのが本校の強みです 資格の取得等に積極的に取り組みます。その結果として、抜群の就職実績だけでなく、商業高校の強みを生かした大学への進学実績にも注目してください。
○	学科は「商業科」と「情報マネジメント科」があります 商業科は、商業に関して広く学習する学科です。2学年からは興味・関心、資格取得に応じて3つのコース（会計ビジネス・情報ビジネス・流通ビジネス）を用意しています。 情報マネジメント科は、1学年で情報処理分野と会計分野をバランス良く学習したうえで、2学年からは個々の適性や資格取得への希望等に応じ、情報処理分野の力をさらに伸ばす情報システムコース、会計分野の力をさらに伸ばすマネジメントコースを用意して、希望進路の実現を図ります。
○	勉強と部活動の両立を目指します 部活動は運動部が14、文化部が19あり、大変盛んに活動しています。運動部は4つの部が三重県の強化指定を受けるなど高い評価を受けています。また商業高校独自の部もあり、各種商業実務競技大会での輝かしい実績を誇っています。東海大会や全国大会に出場する部は、運動部・文化部ともに多く、ほとんどの生徒が部活動に参加し、充実した学校生活を過ごしています。

選抜において重視する要件	
〔商業科、情報マネジメント科共通〕	
○	商業の学習に興味・関心をもち、資格取得などに意欲的に取り組める者
○	部活動等で優れた資質を有し、入学後もその活動を継続して行う意志のある者

学科名	検 査	実 施 概 要
商 業 科 情報マネジ メント科	面 接	個人面接（5分程度） 志望動機、部活動、中学校での生活の様子等について応答する。
	作 文	45分・400～500字

学科名	選 抜 方 法
商 業 科 情報マネジ メント科	1 選抜資料の取扱い (1) 調 査 書 点数化する。 評定（第1～3学年の各教科の評定を換算） 90点満点 調査書における評定以外の記載事項 最高 20点 合 計 110点 (2) 面 接 A、B、Cの3段階で評価する。 (3) 作 文 A、B、Cの3段階で評価する。
	2 選抜方法 次の各段階に該当する受検者について順に、調査書、面接・作文の評価及び「自己推薦書」の記載事項を考慮して総合的に選抜する。 (1) 第1段階 調査書得点の順位が募集人数のおよそ60%以内である者 (2) 第2段階 第1段階で合格となった者を除く全ての受検者について、「選抜において重視する要件」に特に合致する者 (3) 第3段階 第1段階及び第2段階で合格となった者を除く全ての受検者

《四日市農芸高等学校》

学 校 の 特 色
<p>本校は四日市市の南端、河原田町にあり、交通はJRと伊勢鉄道が通っており、通学はたいへん便利です。校庭には多くの樹木が植えられ、春の新緑から秋の紅葉まで四季折々の樹木や花を楽しむことができます。</p> <p>農業学科では、都市型農業や自然農法を学んだり、情報処理技術を使って農業に関する経営、流通について学ぶ「生産科学科」、食の安全・安心をコンセプトに食品の製造・衛生・流通について学ぶ「食品科学科」、自然と人間の調和を図りながら造園や都市計画、環境保全等の業務に従事する技術を学ぶ「環境造園科」、都市での園芸活動における豊かな生活空間づくりと自然環境の保全・復元を目的とし、生活環境の改善・向上を目指す「園芸科学科」があります。</p> <p>家庭学科では、衣・食・住・福祉・環境など、日々の生活と関わりの深い分野について学び、生活産業における職業人の育成を目指す「生活文化科」があります。</p>

選抜において重視する要件
<p>〔生産科学科、食品科学科、環境造園科、園芸科学科、生活文化科共通〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各学科の学習内容に興味・関心があり、学習意欲のある者 ○ 部活動や生徒会活動に積極的に取り組み、継続して活動する意欲のある者 <p>(生産科学科)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 栽培や飼育を中心とした食料生産の分野や食品流通・販売におけるコンピュータの活用の分野に興味・関心及び意欲があり、将来その分野への進路を希望する者 <p>(食品科学科)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 食の安全性や加工技術の分野、食品流通・販売におけるコンピュータの活用の分野に興味・関心及び意欲があり、将来その分野への進路を希望する者 <p>(環境造園科)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 造園や都市計画、都市環境の改善や自然環境の保全等の分野に興味・関心及び意欲があり、将来その分野への進路を希望する者 <p>(園芸科学科)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 観賞植物を活用した生活環境の改善や自然環境の保全等の分野に興味・関心及び意欲があり、将来その分野への進路を希望する者 <p>(生活文化科)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 食物、服飾、福祉の分野に興味・関心及び意欲があり、高度な知識・技術を習得して、将来その分野への進路を希望する者

学科名	検 査	実 施 概 要
生産科学科 食品科学科 環境造園科 園芸科学科 生活文化科	面 接	<p>集団面接（1グループ15分程度）、個人面接（7分程度）</p> <p>集団面接及び個人面接では、志望の動機、目的意識、学習や部活動への関心・意欲等について応答する。</p>
	作 文	50分・600字程度

学科名	選 抜 方 法
生産科学科 食品科学科 環境造園科 園芸科学科 生活文化科	<p>1 選抜資料の取扱い</p> <p>(1) 調査書 点数化する。（第1～3学年の各教科の評定を換算 50点満点）</p> <p>(2) 面 接 ① 集団面接 A、B、C、D、Eの5段階で評価する。 ② 個人面接 A、B、C、D、Eの5段階で評価する。</p> <p>(3) 作 文 A、B、C、D、Eの5段階で評価する。</p> <hr/> <p>2 選抜方法</p> <p>次の各段階に該当する受検者について順に、調査書及び「自己推薦書」の記載事項を考慮して総合的に選抜する。</p> <p>(1) 第1段階 調査書得点の順位が募集人数のおよそ60%以内であることと、集団面接、個人面接及び作文の評価がC段階以上で、なおかつB段階以上の評価が一つ以上あることの両方の条件を満たす者</p> <p>(2) 第2段階 第1段階で合格となった者を除く全ての受検者</p>

別表2

《菰野高等学校》

学 校 の 特 色
<p>○菰野高校とは 昭和23年に創設され、70年を超える歴史と伝統があり、多くの卒業生が県内外の各界で活躍しています。また、菰野町唯一の県立高校として地元から親しまれるなど、地域とのつながりが強い学校です。</p> <p>○菰野高校が特に力を入れていること</p> <p>【学力の向上】 在校生の進路希望は就職、進学と様々ですが、全員が希望する進路を実現できるよう、1学年次から段階を追って丁寧な指導を行うなど、学力の向上に力を入れています。</p> <p>【エリア制】 「エリア制」という柔軟な教育課程を編成しているのが特徴です。2学年次から、次に示す3つのエリア(科目群)から授業を選択して、自分の興味・関心や進路希望に応じた学びを深め、力をつけていきます。 『ステップアップ』：大学・短大・高等看護専門学校等への進学に必要な学力を身につけ、上級学校への合格を目指します。 『キャリアデザイン』：就職したあと、仕事をするうえで必要となる資格の取得、技能の習得など、社会人としての資質と能力を身につけます。 『ヒューマンサポート』：実習や体験学習を中心とする授業をとおして、社会人にふさわしい人格の完成を目指します。</p> <p>【職場体験講座】 夏期休業中に、地域の団体等のご支援のもと、1、2年生を対象に、保育、介護など福祉に関する講座を開設しています。職業体験ができる貴重な機会であるとともに、この体験を通じて、多くの生徒が自分の将来を真剣に考え始める契機となっています。</p> <p>【部活動、生徒会活動など】 1年生の部活動全入制や施設・設備の充実を進める部活動をはじめ、生徒会活動、学校行事を通じて、優しさや思いやり、生命の尊さや人権を尊重する心、感謝の気持ちなど、一人ひとりの豊かな人間性を育みます。また、地域の行事等に積極的に参加するなど、「地域から愛される学校」として活発に活動しています。</p>

選抜において重視する要件
<p>(普通科)</p> <p>○ 明確な進路希望を持って、本校の学校生活や学習活動、体験学習等の地域に根ざした教育活動に積極的に取り組む意欲のある者</p> <p>○ 部活動等において優れた実績があり、本校の部活動で3年間継続して活動する意志のある者</p> <p>○ 漢字検定、英語検定、簿記検定、ビジネス文書検定などの様々な資格検定を積極的に取得しようとする者</p>

学 科 名	検 査	実 施 概 要
普 通 科	面 接	集団面接(1グループ20分程度) 志望動機、志願者の目的意識、関心、意欲等について応答する。
	学力検査	数学

学 科 名	選 抜 方 法								
普 通 科	<p>1 選抜資料の取扱い</p> <table border="0"> <tr> <td>(1) 調 査 書 点数化する。</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 評定(第3学年の各教科の評定の合計)</td> <td>45点満点</td> </tr> <tr> <td> スポーツ・文化活動等の実績</td> <td>最高 5点</td> </tr> <tr> <td> 合 計</td> <td>50点</td> </tr> </table> <p>(2) 面 接 A、B、C、Dの4段階で判定する。</p> <p>(3) 学力検査 数学(50点満点)の得点をA、B、C、Dの4段階で評価する。</p>	(1) 調 査 書 点数化する。		評定(第3学年の各教科の評定の合計)	45点満点	スポーツ・文化活動等の実績	最高 5点	合 計	50点
	(1) 調 査 書 点数化する。								
評定(第3学年の各教科の評定の合計)	45点満点								
スポーツ・文化活動等の実績	最高 5点								
合 計	50点								
	<p>2 選抜方法</p> <p>次の各段階に該当する受検者について順に、調査書及び「自己推薦書」の記載事項を考慮して総合的に選抜する。</p> <p>(1) 第1段階 調査書得点の順位が募集人数の60%以内であることと、面接及び数学の評価がともにB段階以上であることの両方の条件を満たす者</p> <p>(2) 第2段階 調査書得点の順位が募集人数の80%以内であることと、面接及び数学の評価がともにC段階以上であることの両方の条件を満たす者</p> <p>(3) 第3段階 第1段階及び第2段階で合格となった者を除く全ての受検者</p>								

《川越高等学校》

学 校 の 特 色
<p>本校は、創立以来普通科と英語科の2つの学科を設置していましたが、平成24年度より英語科を国際文理科に学科改編し、英語力をベースにして文系だけでなく理系分野にも対応できる学科に変わりました。国際文理科（1学年2学級）と普通科（1学年6学級）があり、全校で24学級、生徒数960名の大規模校です。本校の特色は3つあります。</p> <p>第一は、皆さんの力を最大限伸ばすよう、コミュニケーションを大切にしながら自発的な学習を援助して励ます学校であることです。卒業生は、幅広い分野の大学に進学しています。</p> <p>第二は、国際的な視野に立てる人材の育成に力を入れていることです。国際化が進展する中で、将来、どの方面に進む人にも、自国の文化を理解し、自分の考えを国際語である英語で表現する力が求められています。本校はその力を育成する環境を提供します。</p> <p>第三は、文武両道（勉学と部活動の両立）を掲げていることです。運動部・文化部合わせて26の部活動に約9割の生徒が参加し、心と体を鍛え、生涯の友を得ています。</p> <p>意欲にあふれ、高い志（こころざし）をもった皆さんに最適の学校です。</p>

選抜において重視する要件
<p>(国際文理科)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 英語について興味・関心があり、入学後継続してさらに深く学ぶ意欲のある者 ○ 将来、大学などに進学し、文系理系を問わず幅広い分野での勉学を希望する者

学 科 名	検 査	実 施 概 要
国際文理科	学力検査	数学、英語

学 科 名	選 抜 方 法
国際文理科	<p>1 選抜資料の取扱い</p> <p>(1) 学力検査 115点（数学50点。英語50点は1.3倍する。）</p> <p>(2) 調査書 点数化する。（第3学年の各教科の評定の合計 45点満点）</p> <hr/> <p>2 選抜方法</p> <p>次の各段階に該当する受検者について順に、調査書及び「自己推薦書」の記載事項を考慮して総合的に選抜する。</p> <p>(1) 第1段階 調査書得点の順位が募集人数の120%以内であることと、学力検査得点の合計の順位が募集人数の80%以内であることの両方の条件を満たす者</p> <p>(2) 第2段階 第1段階で合格となった者を除く全ての受検者</p>

《神戸高等学校》

学 校 の 特 色
<p>本校は、大正9年の創立以来、「質実剛健」を校訓とし、99周年を迎えた伝統校です。生徒は、普通科・理数科ともほぼ全員が大学等への進学を目標として勉学に励むとともに、約8割の生徒が運動部・文化部で日々の活動を行い、自分自身を高めるという高い「志」を持ち、「文武両道」を実践しています。</p> <p>近年は、少人数教育、放課後・土曜日・長期休業中の課外授業、新入生の宿泊研修など個人に重点を置いた指導を行っています。また、低学年からのガイダンス・研究所訪問・国際交流等による広い視野を持ち、「社会で生きる力」を高めるキャリア教育に重点をおいたきめ細かな指導のもと、多数の卒業生が国公立大学に合格しています。</p> <p>本校は、「高校3年間は自分の夢の実現のために」という明確な目標を持ち、将来、地域や社会に貢献しリーダーとして活躍できる生徒を全面的に支援します。</p>

選抜において重視する要件
<p>(理数科)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習成績が優秀で、意欲的に学習活動に取り組める者 ○ 国公立大学をはじめとする難関四年制大学への進学を希望する者 ○ 次世代を担う研究者・技術者として、社会に貢献する「夢」と「志」を持つ者 ○ リーダーシップを備え、部活動・生徒会活動へ積極的に取り組める者

学 科 名	検 査	実 施 概 要
理 数 科	面 接	集団面接（1グループ30分程度） 進路に対する目的意識、得意分野・教科に関する関心・意欲等について応答する。
	学力検査	数学、英語

学 科 名	選 抜 方 法
理 数 科	<p>1 選抜資料の取扱い</p> <p>(1) 調査書 点数化する。（第3学年の各教科の評定の合計 45点満点）</p> <p>(2) 面接 A、B、Cの3段階で評価する。</p> <p>(3) 学力検査 100点（数学50点、英語50点）</p>
	<p>2 選抜方法</p> <p>次の各段階に該当する受検者について順に、面接の評価、調査書及び「自己推薦書」の記載事項を考慮して、総合的に選抜する。</p> <p>(1) 第1段階 調査書得点(45点満点)と学力検査得点の1.5倍(100点×1.5)の合計が、上位から募集人数のおよそ80%以内である者</p> <p>(2) 第2段階 第1段階で合格となった者を除く全ての受検者</p>

《飯野高等学校》

学 校 の 特 色
<p>県内唯一の特色ある学科である応用デザイン科と英語コミュニケーション科を有する高等学校です。</p> <p>応用デザイン科では、生徒の適性、興味・関心や進路希望等により「ビジュアルデザイン」「服飾デザイン」「美術（油彩画・日本画・彫刻）」の3コースに分かれて専門的な学習を行っており、専門学科ならではの施設・設備を活用して実習の時間を多く設けています。また、美術系やデザイン系の上級学校への進学希望者が多く、国公立大学を含む芸術系大学への進学実績をあげています。</p> <p>英語コミュニケーション科では、全ての英語の授業を少人数講座で行っており、読む・聴く・書く・話すの4技能をバランスよく学習できる授業内容となっています。ALTとのチームティーチングによる英会話やリスニングの授業も充実しています。授業以外にも、英語研修、海外語学研修、姉妹校（オーストラリア）交流など、実際に英語を使う多彩な行事を設けています。また、進路希望に応じたコース制のカリキュラムにより、四年制大学の外国語学部をはじめ、幅広い文系学部への進学実績をあげています。</p>

選抜において重視する要件
<p>(応用デザイン科)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 美術・デザイン表現に優れた資質をもつ者 ○ 将来の夢の実現に向けてチャレンジする向上心がある者 <p>(英語コミュニケーション科)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 英語の学習に興味をもち、入学後も学習活動に意欲的である者 ○ 英語を生かした将来の夢の実現に向けてチャレンジする向上心がある者

学科名	検 査	実 施 概 要
応用デザイン科	面 接	個人面接（10分程度） 志望動機、美術・デザインに対する関心・意欲、将来の目標などについて応答する。
	実技検査	鉛筆デッサン（休憩時間を含む120分） 用具：鉛筆、消しゴム（練り消しゴム可）、鉛筆削り（カッターナイフ可）のみ持ち込み可（志願者が持参する） 用紙：四つ切り画用紙（高等学校が用意する）
	学力検査	英語、国語
英語コミュニケーション科	面 接	個人面接（10分程度） 日本語と英語による面接。英語による面接では、日常会話や英文の内容について英問英答を行う。 （例）What is your hobby?
	学力検査	英語

《飯野高等学校》

学科名	選 抜 方 法
応用デザイン科	<p>1 選抜資料の取扱い</p> <p>(1) 調 査 書 点数化する。(第3学年の各教科の評定の合計 45点満点)</p> <p>(2) 面 接 A、B、C、D、Eの5段階で評価する。</p> <p>(3) 学 力 検 査 100点(国語50点、英語50点)</p> <p>(4) 実 技 検 査 100点(鉛筆デッサン)</p> <hr/> <p>2 選抜方法</p> <p>次の各段階に該当する受検者について順に、面接の評価並びに調査書及び「自己推薦書」の記載事項を考慮して総合的に選抜する。</p> <p>(1) 第1段階 次の3つの条件を全て満たす者</p> <p>① 調査書得点の順位が募集人数の100%以内であること</p> <p>② 学力検査得点の順位が募集人数の100%以内であること</p> <p>③ 実技検査得点の順位が募集人数の100%以内であること</p> <p>(2) 第2段階 第1段階で合格となった者を除く全ての受検者</p>
英語コミュニケーション科	<p>1 選抜資料の取扱い</p> <p>(1) 調 査 書 点数化する。(第3学年の各教科の評定の合計 45点満点)</p> <p>(2) 面接(英語) 点数化する。(50点満点)</p> <p>(3) 面接(日本語) A、B、C、D、Eの5段階で評価する。</p> <p>(4) 学 力 検 査 50点(英語)</p> <hr/> <p>2 選抜方法</p> <p>次の各段階に該当する受検者について順に、面接(日本語)の評価並びに調査書及び「自己推薦書」の記載事項を考慮して総合的に選抜する。</p> <p>(1) 第1段階 調査書得点の順位が募集人数の100%以内であることと、学力検査得点と面接(英語)による得点の合計の順位が募集人数の80%以内であることの両方の条件を満たす者</p> <p>(2) 第2段階 第1段階で合格となった者を除く全ての受検者</p>

《白子高等学校》

学 校 の 特 色
<p>(普通科) 「創造・奉仕・規律」を教育理念として掲げている。奉仕の心で行動し、規律を守り、主体的に学ぶ姿勢の育成を目指す。 地元から愛され、応援される学校を目指している。 各々の生徒が「学ぶ意識」や「目的意識」をもち、特別活動等を通じて向上心を高め、社会の一員として必要な意識の醸成（じょうせい）に努めている。 生徒の希望に応じて、進学にも就職にも応えられる総合的な教育を実施している。</p> <p>(普通科・文化教養（吹奏楽）コース) 吹奏楽に関する専門科目（吹奏楽、演奏研究、重奏、舞台芸術、音感身体表現等）を履修し、演奏技術、指導技術、音楽的素養の習得とともに、豊かな人間性をもったスペシャリストを育成する。 また、就職はもちろんのこと、音楽系大学や文系大学等への進学にも対応している。</p> <p>(生活創造科) 家庭に関する知識や技術、マナーを学習し、心豊かなライフスタイルを創造する力を身につける。 新しい感覚をもったスペシャリストを育成するため、従来の家庭科領域にとらわれない独自のカリキュラムを設定している。 2年次から、食物分野・被服分野を柱とする2コースに分かれて専門的な学習をし、様々な資格取得にもチャレンジできる。 また、ボランティア活動を通して地域や産業界との連携を深めている。</p>

選抜において重視する要件
<p>[普通科、普通科・文化教養（吹奏楽）コース、生活創造科共通] ○ 志望の動機が明確で、高校生活にしっかりとした目標・目的意識をもった者</p> <p>(普通科) ○ すべての教科に対して真面目に学習活動に取り組める者 ○ 部活動において優れた能力をもち、3年間継続して努力する意志のある者</p> <p>(普通科・文化教養（吹奏楽）コース) ○ すべての教科に対して真面目に学習活動に取り組める者 ○ 吹奏楽活動に興味・関心があり、3年間継続して努力する強い意志のある者 ○ 吹奏楽で優れた実績があり、入学後も本校の中核として活動する強い意志のある者</p> <p>(生活創造科) ○ 家庭に関する知識や技術の習得に興味があり、真面目に学習活動に取り組める者 ○ 部活動において優れた能力をもち、3年間継続して努力する意志のある者</p>

学科・コース名	検 査	実 施 概 要
普通科 生活創造科	面 接	集団面接（1グループ15分程度） 本校入学への目的意識や面接態度をみて、適性を確認する。
	学力検査	国語
普通科・ 文化教養 （吹奏楽） コース	自己表現	個人発表（5分程度） 自由な形式での自己PR及び質疑応答を通して、文化教養（吹奏楽）コースへの興味・関心、意欲や適性をみる。 （個人発表の例） ・ 楽器の演奏をする。 ・ 文化教養（吹奏楽）コースへの興味・関心や意欲について発表する。
	学力検査	国語

《白子高等学校》

学科・ コース名	選 抜 方 法
普通科 生活創造科	<p>1 選抜資料の取扱い (1) 調査書 点数化する。(第1～3学年の各教科の評定の合計 135点満点) (2) 面接 A、B、C、D、Eの5段階で評価する。 (3) 学力検査 国語(50点満点)の得点をA、B、C、D、Eの5段階で評価する。</p> <hr/> <p>2 選抜方法 次の各段階に該当する受検者について順に、調査書及び「自己推薦書」の記載事項を考慮して総合的に選抜する。 (1) 第1段階 調査書得点の順位が募集人数の60%以内であることと、面接と学力検査(国語)の評価がともにC段階以上であることの両方の条件を満たす者 (2) 第2段階 次の①～③のいずれか1つ以上に該当する者 ① 調査書得点の順位が募集人数の100%以内であること ② 面接と学力検査(国語)の評価がともにC段階以上であること ③ スポーツ・文化活動の実績あるいは資質が特にすぐれていること (3) 第3段階 第1段階及び第2段階で合格となった者を除く全ての受検者</p>
普通科・ 文化教養 (吹奏楽) コース	<p>1 選抜資料の取扱い (1) 調査書 点数化する。(第1～3学年の各教科の評定の合計 135点満点) (2) 自己表現 A、B、C、D、Eの5段階で評価する。 (3) 学力検査 国語(50点満点)の得点をA、B、C、D、Eの5段階で評価する。</p> <hr/> <p>2 選抜方法 次の各段階に該当する受検者について順に、調査書及び「自己推薦書」の記載事項を考慮して総合的に選抜する。 (1) 第1段階 調査書得点の順位が募集人数の60%以内であることと、自己表現と学力検査(国語)の評価がともにC段階以上であることの両方の条件を満たす者 (2) 第2段階 次の①～③のいずれか1つ以上に該当する者 ① 調査書得点の順位が募集人数の100%以内であること ② 自己表現と学力検査(国語)の評価がともにC段階以上であること ③ 吹奏楽における活動の実績あるいは資質が特にすぐれていること (3) 第3段階 第1段階及び第2段階で合格となった者を除く全ての受検者</p>

《石薬師高等学校》

学 校 の 特 色
<p>本校は昭和53年に創立され、令和2年度には開校43年目を迎える普通科の学校です。 校訓の「自主・創造・敬愛」をもとに、次のような学校を目指しています。</p> <p><自主> 自ら努力して学び、自分の進路を自分で切り拓く生徒を育てる学校 <創造> 地域から信頼され、強い責任感を持ち、将来の社会に貢献する生徒を育てる学校 <敬愛> 笑顔にあふれ、人を思いやる豊かな人間性を持つ生徒を育てる学校</p> <p>このような学校を実現するためにすべての生徒が安心して学校生活を送れるよう、生徒一人ひとりをきめ細かくサポートするとともに、特に次の3つに力を入れて取り組んでいます。</p> <p>○ 学ぶ楽しさを実感できる授業 「少人数教育」や「習熟度別学習」「補習授業」など「わかる授業」を通じて、生徒一人ひとりが学ぶ楽しさを実感しながら、基礎学力を幅広くしっかりと身につけます。</p> <p>○ キャリア教育の充実 1年次は、全員共通の科目を学習したあと、2年次からは進学希望に対応する「アカデミック系列」と就職など幅広い進路希望に対応する「スタンダード系列」に分かれ、生徒一人ひとりの進路希望に応じた学習を進めます。また、総合的な学習の時間における「キャリアガイダンス」やきめ細やかな「面接指導」に加え、インターンシップ（就業体験）を取り入れるなど、3年間を見通したキャリア教育を行うことで、生徒一人ひとりの進路希望を実現します。</p> <p>○ 豊かな人間性の育成 ホームルーム活動、生徒会活動、学校行事や部活動のほか、併設の特別支援学校との交流等を通じて、優しさや思いやり、生命の尊さや人権を尊重する心、感謝の気持ちなど、生徒一人ひとりの豊かな人間性を育みます。</p>

選抜において重視する要件
<p>(普通科)</p> <p>○ 志望動機が明確で、高校生活に目的意識を持つ者 ○ 規範意識を強く持ち、学校生活に積極的に取り組める者 ○ 学習活動にまじめに取り組み、向上心を持って努力する者</p>

学 科 名	検 査	実 施 概 要
普 通 科	面 接	個人面接（10分程度） 志望動機、学習や部活動に対する関心や意欲、将来の目標等について応答する。
	作 文	40分・400字程度

学 科 名	選 抜 方 法												
普 通 科	<p>1 選抜資料の取扱い</p> <table border="0"> <tr> <td>(1) 調査書</td> <td>点数化する。</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>評定（第3学年の各教科の評定の合計）</td> <td>45点満点</td> </tr> <tr> <td></td> <td>評定以外の記載事項</td> <td>最高 30点</td> </tr> <tr> <td></td> <td>合 計</td> <td>75点</td> </tr> </table> <p>(2) 面接 次の4つの項目について、A、B、C、Dの4段階で評価する。 ・ 志望動機 ・ 中学校生活に関する内容 ・ 高校での抱負と将来の進路 ・ 面接態度</p> <p>(3) 作文 次の4つの項目について、A、B、C、Dの4段階で評価する。 ・ 表記力 ・ 文章表現力 ・ 内容 ・ 字数</p>	(1) 調査書	点数化する。			評定（第3学年の各教科の評定の合計）	45点満点		評定以外の記載事項	最高 30点		合 計	75点
	(1) 調査書	点数化する。											
	評定（第3学年の各教科の評定の合計）	45点満点											
	評定以外の記載事項	最高 30点											
	合 計	75点											
	<p>2 選抜方法 (1)～(3)をもとに、調査書及び「自己推薦書」の記載事項を考慮して総合的に選抜する。</p>												

《稻生高等学校》

学 校 の 特 色

目指す学校像を「学校・家庭・地域の連携のもと『社会に役立つ人材の育成』に取り組む学校 ～知・徳・体の調和がとれた教育実践をとおして～」とし、参加型の学習を取り入れ、向上心やコミュニケーション能力の育成を目指します。また『社会に役立つ人材』を育成するためのきめ細やかな生徒指導や個人面談を充実させ個々の進路実現につなげます。

(普通科)

- 2年次より、生徒の興味・関心に合わせてコースの授業を行い、大学、専門学校、民間企業等と連携し、資格取得や実習を多く取り入れ、生徒一人ひとりの進路実現につなげます。

- ・アドバンスコース

国語・社会(地理歴史・公民)・数学・理科・英語の5教科の授業をとおして、幅広い教養を身につけることをねらいとするコースです。生徒一人ひとりの多様な進路選択に対応し、基礎から発展的な内容まで学びます。また、資格取得をサポートし、社会で活躍できる人材の育成を目指します。

- ・自動車工業コース

工業科目を中心に自動車工学、自動車整備など自動車と機械分野の基礎を学ぶとともに、3年次では企業実習を行います。

- ・介護福祉コース

介護福祉についての専門的な知識を学ぶとともに、「介護職員初任者研修課程(旧ホームヘルパー2級)」の資格取得を目指します。

- ・食物調理コース

食文化や食品についての専門的な知識を学ぶとともに、調理実習等をとおし、計画的に考え行動する力を身につけ、食物に関する資格の取得を目指します。

- ・ビジネスコース

簿記や情報処理などの商業科目を学ぶことで、コンピュータリテラシーやビジネスマナーなどビジネス社会で必要とされる力を養います。

- ・情報コース

日々高度化する情報社会で専門的な情報活用能力、技術や正しい情報モラルを備えたスペシャリストの育成を目指します。さらにプレゼンテーションの学習を通じて、社会人として必要とされているコミュニケーション能力や自己表現力が身につけられます。

(体育科)

- 県内最高の施設のもとで、体育・スポーツ活動をとおして人づくりを目指します。
- 全国大会上位入賞、全国大会出場などの各自の目標に応じた指導を行うとともに、生涯にわたり体育に親しむ能力を育成します。
- 校外での実習を行います。外部講師を招請して授業を展開します。

選抜において重視する要件

[普通科、体育科共通]

- 社会に役立ちたいという明確な目的意識を持ち、自ら学び、自らを鍛えるための高校生活を送れる者
- 規範意識や基本的な生活習慣が身に付いており、自他を敬愛してコミュニケーション能力を身に付けている者
- 部活動・生徒会活動などの学校教育活動に積極的に取り組める者

(普通科)

- コースの学習や職場体験学習、ボランティア活動に積極的に取り組める者

(体育科)

- 体育に優れた資質をもち、入学後も意欲的に取り組める者
- 運動部活動で優れた実績を有し、入学後も運動部活動を行う意志のある者

《稲生高等学校》

学科・コース名	検査	実施概要
普通科	面接	個人面接（10分程度） 志望動機、学業や部活動等への意欲、将来の目標等について応答する。
	学力検査	国語
体育科	面接	個人面接（10分程度） 「自己推薦書」の内容、スポーツ・学習等に対する意欲等について応答する。
	実技検査	次の種目から、志願者が事前に選択した1種目とする。内容は、基本的な技能・技術、動作を中心とする。 陸上競技（100m走、800m走、走り高跳び、走り幅跳び、砲丸投げ）・柔道・ソフトボール・サッカー・バスケットボール （注）・陸上競技は、（ ）内の5種目から1種目を選択する。 ただし、雨天時は一部の種目を変更する。 （100m走・走り幅跳び・砲丸投げ→立ち幅跳び、800m走→シャトルラン） ・運動ができる服装を準備し、柔道選択者は柔道着を準備すること。スパイクシューズの使用は認めない。

学科・コース名	選抜方法
普通科	1 選抜資料の取扱い (1) 調査書 点数化する。（第3学年の各教科の評定の合計 45点満点） (2) 面接 A、B、C、Dの4段階で評価する。 (3) 学力検査 国語（50点満点）の得点をA、B、C、Dの4段階で評価する。
	2 選抜方法 次の各段階に該当する受検者について順に、調査書及び「自己推薦書」の記載事項を考慮して総合的に選抜する。 (1) 第1段階 調査書得点の順位が募集人数のおよそ100%以内であることと、面接と学力検査（国語）の評価がともにB段階以上であることの両方の条件を満たす者 (2) 第2段階 第1段階で合格となった者を除く全ての受検者
体育科	1 選抜資料の取扱い (1) 調査書 点数化する。（第3学年の各教科の評定の合計 45点満点） (2) 面接 A、B、C、Dの4段階で評価する。 (3) 実技検査 A、B、C、Dの4段階で評価する。
	2 選抜方法 次の各段階に該当する受検者について順に、調査書及び「自己推薦書」の記載事項を考慮して総合的に選抜する。 (1) 第1段階 調査書得点の順位が募集人数のおよそ100%以内であることと、面接の評価がB段階以上かつ実技検査の評価がA段階以上であることの両方の条件を満たす者 (2) 第2段階 第1段階で合格となった者を除く全ての受検者

《亀山高等学校》

学 校 の 特 色
<p>普通科、システムメディア科、総合生活科の3学科を展開し、多様な進路希望の実現を支援します。また、個々の興味・関心、能力・適性に応じた学習を保障するため、2年次より学科の枠を越えて普通科目や専門科目を選択できる総合選択制を採っているほか、インターンシップなどの体験学習を中心としたキャリア教育を充実させ、勤労観・職業観の育成にも努めています。</p> <p>普通科は、各自の適性に応じた進路希望を実現する学力の養成と資格の取得を目指し、「アドバンス系列」と「セレクション系列」を設置しています。アドバンス系列では、7限授業、必要に応じた習熟度別講座編成、学習合宿など、大学進学に向けてきめ細かな指導を行っています。セレクション系列では、興味・関心や進路希望に応じた幅広い科目選択を可能にして、丁寧な指導を行っています。</p> <p>システムメディア科は、県内唯一の「情報」に関する専門学科であり、充実した施設・設備の中でコンピュータに関係する幅広い知識と専門的な技術を身に付けた高度情報社会で活躍できる人材の育成を目指しています。1年次では情報分野の基礎的な学習を進め、2年次より興味・関心、進路希望に応じて、「ITシステム」「メディアデザイン」「情報ビジネス」の3つの系列に分かれて、資格取得も支援しながらそれぞれの専門分野の学習を行います。</p> <p>総合生活科は、ヒューマンサービスに関連する職業について学習し、地域の人々との触れ合いを大切にしながら、思いやりの心とコミュニケーション能力を育てることを目標に「幼児教育」「人間福祉」「食物文化」の3系列を設置しています。1年次に基礎学習とガイダンスの時間を設け、家庭科専門分野の基礎・基本を共通して学習し、2年次より各系列に分かれた学習を行います。</p>

選抜において重視する要件
<p>[普通科、システムメディア科、総合生活科共通]</p> <p>○ スポーツ・文化活動、ボランティア活動、生徒会活動等に意欲をもって取り組む姿勢を有する者</p> <p>(普通科)</p> <p>○ 将来の明確な進路希望がある者</p> <p>(システムメディア科)</p> <p>○ コンピュータに興味・関心があり、意欲的に取り組める者</p> <p>○ 情報・デザイン・ビジネス分野での資格取得を目指す者</p> <p>(総合生活科)</p> <p>○ 保育・福祉・食物分野に関心があり、学習する目的が明確な者</p>

学科名	検 査	実 施 概 要
普通科 システムメディア科 総合生活科	面 接	個人面接（5分程度） 志望理由、中学校生活、高校生活における抱負、進路に対する目標等について応答する。
	作 文	30分・600字程度

学科名	選 抜 方 法
普通科 システムメディア科 総合生活科	<p>1 選抜資料の取扱い</p> <p>(1) 調 査 書 点数化する。(第3学年の各教科の評定の合計 45点満点)</p> <p>(2) 面 接 次の6つの項目について評価し、点数化する。(30点満点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本校を志望する動機 ・ 学習に対する意欲 ・ 中学校生活における諸活動 ・ 高校生活についての抱負 ・ 自己や社会問題への関心 ・ 面接態度 <p>(3) 作 文 A、B、Cの3段階で評価する。</p>
	<p>2 選抜方法</p> <p>次の各段階に該当する受検者について順に、調査書及び「自己推薦書」の記載事項を考慮して総合的に選抜する。</p> <p>(1) 第1段階 作文の評価がB段階以上であることと、調査書得点と面接得点の合計の順位が募集人数のおよそ80%に当たることの両方の条件を満たす者</p> <p>(2) 第2段階 作文の評価がB段階以上かつ面接得点の順位が募集人数のおよそ120%に当たる者のうち、調査書の評定以外の記載事項及び「自己推薦書」の記載事項において、「選抜において重視する要件」に特に合致すると認められる者</p> <p>(3) 第3段階 第1段階及び第2段階で合格となった者を除く全ての受検者</p>

《津西高等学校》

学 校 の 特 色
<p>本校は、創立より46年、清新の気にあふれ教育内容および教育環境も充実・整備された学校です。地元では「西高」と愛称され、「高い志と広い視野を持ち、社会をリードする人材を育成する学校」「これからの社会を生き、未来を切り拓いていくのに必要な資質、能力を培う学校」「確かな学力と豊かな人間性を育み、進路希望を実現する文武両道の進学校」として教育課程を編成し、学習指導・進路指導の充実に努めています。</p> <p>また、平成19年度から6年間「スーパー・サイエンス・ハイスクール」の指定を受け、大きな成果を挙げることができました。平成25年度には「サイエンス・パートナーシップ・プログラム」の指定を受け、平成26年度からこれまでの内容を継承発展させる「津西サイエンス・パートナーシップ・プログラム」を学校独自に立ち上げました。これらを通して国際科学科を中心に国内外で活躍できる能力と資質をもつ人材育成を目指しています。平成29年度には「津西グローバルチャレンジプロジェクト」として、これまで実施してきた「ニュージーランド海外語学研修」に加え、「東京大学・高校生と大学生のための金曜特別講座」、「大学・地元企業との連携による『新商品開発企画』」を開始しました。また、同じく平成29年度から、これからの社会で求められる、他者との協働による課題発見・解決能力及び表現能力を育成するため、「総合的な探究（学習）の時間」において、探究活動「地域をテーマにした課題研究」に取り組んでいます。</p> <p>生徒は、このような取組を通して、お互いをより高め合える雰囲気の中で学習や部活動等に日々努力しています。</p>

選抜において重視する要件
<p>(国際科学科)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 将来リーダーとして国際社会に貢献しようとする高い志と夢をもち、それに対応できる学習成績と学習意欲をもっている者 ○ 難関国公立大学への進学を強く希望し、希望実現のため意欲的・積極的に取り組める者 ○ 前期選抜学力検査教科のみならず、どの教科に対しても意欲的に取り組んでいる者

学 科 名	検 査	実 施 概 要
国際科学科	面 接	集団面接（1グループ20分程度） 本学科への志望動機や学習意欲、将来実現したいこと等について応答する。
	学力検査	数学、英語

学 科 名	選 抜 方 法
国際科学科	<p>1 選抜資料の取扱い</p> <p>(1) 調査書 点数化する。（第3学年の各教科の評定の合計 45点満点）</p> <p>(2) 面接 A、B、Cの3段階で評価する。</p> <p>(3) 学力検査 100点（数学50点、英語50点）</p>
	<p>2 選抜方法</p> <p>(1)と(3)の合計点数をもとに、面接の評価並びに調査書及び「自己推薦書」の記載事項を考慮して総合的に選抜する。</p>

《津商業高等学校》

学 校 の 特 色
<p>中勢地区で唯一の商業に関する専門高校で、情報システム科とビジネス科があります。</p> <p>情報システム科は、ネットワーク・データベース・セキュリティマネジメントといった情報の専門分野の基礎を学習し、情報化社会に対応できる資格（国家試験等）と知識・技術を身につけ、ビジネスの諸活動においてコンピュータを活用する能力と態度を育みます。</p> <p>ビジネス科は、簿記会計やワープロ、情報処理、マーケティング分野などビジネスに必要な知識・技術・マナーを幅広く学びます。一人ひとりの進路や興味・関心に対応するため、2年生から会計類型と経営情報類型に分かれて学習します。</p> <p>卒業後の進路は、四年制大学・短期大学・専門学校等への進学と多様な職種への就職がほぼ半々で、就職者の大半が三重県内に就職しています。</p> <p>部活動がたいへん盛んで、運動部・文化部ともいくつもの部が全国大会に毎年出場しています。多くの生徒が学習と両立させながら充実した学校生活を送っています。</p>

選抜において重視する要件
<p>〔ビジネス科、情報システム科共通〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「商業」や「情報」の学習に興味・関心と意欲があり、資格取得にも積極的に取り組める者 ○ 部活動で優れた実績があり、3年間継続して活動する強い意志のある者

学 科 名	検 査	実 施 概 要
ビジネス科 情報システム科	面 接	個人面接（10分程度） 志望動機、中学校での諸活動等について応答する。
	作 文	40分・400～500字

学 科 名	選 抜 方 法				
ビジネス科 情報システム科	<p>1 選抜資料の取扱い</p> <p>(1) 調 査 書 点数化する。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: right;"> 評価（第1～3学年の各教科の評価を換算） スポーツ・文化活動の実績等 </td> <td style="text-align: right; vertical-align: bottom;"> 45点満点 最高 5点 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td style="text-align: right;">50点</td> </tr> </table> <p>(2) 面 接 A、B、C、D、Eの5段階で評価する。</p> <p>(3) 作 文 A、B、Cの3段階で評価する。</p>	評価（第1～3学年の各教科の評価を換算） スポーツ・文化活動の実績等	45点満点 最高 5点	合 計	50点
	評価（第1～3学年の各教科の評価を換算） スポーツ・文化活動の実績等	45点満点 最高 5点			
合 計	50点				
	<p>2 選抜方法</p> <p>次の各段階に該当する受検者について順に、調査書及び「自己推薦書」の記載事項を考慮して総合的に選抜する。</p> <p>(1) 第1段階 調査書得点の順位が募集人数の60%以内であることと、面接の評価がC段階以上かつ作文の評価がB段階以上であることの両方の条件を満たす者</p> <p>(2) 第2段階 面接の評価がB段階以上かつ作文の評価がA段階である者のうち、調査書の評定以外の記載事項において「選抜において重視する要件」に特に合致すると認められる者</p> <p>(3) 第3段階 第1段階及び第2段階で合格となった者を除く全ての受検者</p>				

《津東高等学校》

学 校 の 特 色
<ul style="list-style-type: none"> ○ 単位制・普通科の学校で、Sクラス（120人）とFクラス（200人）に分かれます。単位制の特色を生かし多様な選択講座を開設し、進路希望に応じた系列を選択できます。 ○ Sクラスは1年次から国公立大学への進学を強く希望する生徒で編成するクラスです。 ○ Fクラスは1年次で共通の科目を学習しながら進路を考え、2年次には理系・文系の2つの系列、3年次には国公立文系、A型文系、B型文系、理系の4つの系列から、自分の進路実現に最も適した系列を選びます。 ○ 生徒のほとんどが四年制大学等への進学を希望しています。習熟度別学習や7限授業、課外授業、土曜補講などを実施するとともに、一人ひとりを大切にしたいきめ細かなガイダンスにも力を入れ、生徒の力を引き出し、伸ばします。 ○ 津駅から最も近くにある普通科高校であり、県総合文化センターや県総合博物館（M i e M u）、県立図書館、県立美術館も近く、恵まれた教育環境にあります。

選抜において重視する要件
(普通科) <ul style="list-style-type: none"> ○ 高い志と将来の夢をもち、それを実現するために国公立四年制大学へ進学したいという意志が明確な者 ○ 学習成績が優秀でSクラスで学ぶことを希望する者

学 科 名	検 査	実 施 概 要
普 通 科	面 接	個人面接（5分程度） 国公立四年制大学への進学意思、Sクラスの特徴や取組の理解等について応答する。
	学力検査	数学、英語

学 科 名	選 抜 方 法
普 通 科	1 選抜資料の取扱い (1) 調 査 書 点数化する。（第3学年の各教科の評定の合計 45点満点） (2) 面 接 次の4つの項目についてA、B、Cの3段階で評価する。 ・ 国公立四年制大学への進学意思 ・ Sクラスの特徴や取組の理解 ・ 高校生活への意欲 ・ 面接態度（応答の的確さ、明瞭さなど） (3) 学力検査 100点（数学50点、英語50点）
	2 選抜方法 (1)と(3)の合計点数をもとに、面接の評価並びに調査書及び「自己推薦書」の記載事項を考慮して総合的に選抜する。

《津工業高等学校》

学 校 の 特 色
<p>大正6年に津市立工芸学校として設立された本校は、以来幾度かの校名変更を経て、昭和30年に県立津工業高等学校となり、現在に至っています。</p> <p>創立100年を超える歴史を誇り、「質実剛健」の気風を堅持し、学業・部活動ともに有意義な高校生活を送り、基本的な生活習慣と基礎・基本的な学力の定着を図り、意欲と実践力を備えた津工業生の育成に努力しています。</p>

選抜において重視する要件
<p>〔機械科、電気科、電子科、建設工学科共通〕</p> <p>○ 工業学科の学習に興味・関心及び学習意欲があり、目的意識が明確で具体的に意思表示ができる者</p> <p>○ 部活動に3年間継続して取り組むことができる者</p>

学 科 名	検 査	実 施 概 要
機 械 科 電 気 科 電 子 科 建 設 工 学 科	面 接	<p>集団面接（1グループ20分）</p> <p>志望動機、工業教育に関する興味・関心、適性について応答する。</p>
	総合問題	50分（数学、国語）

学 科 名	選 抜 方 法						
機 械 科 電 気 科 電 子 科 建 設 工 学 科	<p>1 選抜資料の取扱い</p> <p>(1) 調 査 書 点数化する。</p> <table style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>評定（第1～3学年の各教科の評定を換算）</td> <td style="text-align: right;">70点満点</td> </tr> <tr> <td>スポーツ・文化活動の実績等</td> <td style="text-align: right;">最高 15点</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td style="text-align: right;">85点</td> </tr> </table> <p>(2) 総合問題 30点</p> <p>(3) 面 接 次の4つの項目についてそれぞれ評価し、A～Eの5段階で評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本校を志望する動機、目的意識 ・ 学科の内容についての理解 ・ 高校生活への意欲 ・ 面接態度（応答の的確さ、明瞭さなど） <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>2 選抜方法</p> <p>(1)と(2)の合計点数をもとに、面接の評価並びに調査書及び「自己推薦書」の記載事項を考慮して総合的に選抜する。</p>	評定（第1～3学年の各教科の評定を換算）	70点満点	スポーツ・文化活動の実績等	最高 15点	合 計	85点
評定（第1～3学年の各教科の評定を換算）	70点満点						
スポーツ・文化活動の実績等	最高 15点						
合 計	85点						

《久居高等学校》

学 校 の 特 色
<ul style="list-style-type: none"> ○ 県下で初めて単位制を導入した普通科高校として、単位制のメリットである科目の選択制と少人数制を生かし、一人ひとりの学力をしっかりと定着させて伸ばす学校教育を行っています。 ○ 誰にでもよく分かる授業の充実を図るとともに、生徒それぞれが第一志望の目標達成ができるように、きめ細かく丁寧な指導を展開しています。 ○ 普通科、普通科・スポーツ科学コースともに、生徒個々の進路目標に応じた時間割を作成し、学ぶことができます。 ○ 普通科では、平成29年度より従来2年次からであったチャレンジコースが、1年次より普通コースと分かかれ、より早期から準備することによって国公立大学や難関私立大学への進学ニーズに対応していきます。また、普通コースでは、2年次より“看護”保育“公務員”等10を超えるモデルコースを設置し、各モデルコースでは、進路希望実現に適した教科目を配置する等、希望実現に向け支援します。 ○ 普通科・スポーツ科学コースは、大学の体育学科等への進学を目標とする生徒や、将来にわたり実社会の中でスポーツに関わる人材育成を目標に、科学的トレーニング法など新しいスポーツ理論を中心に、独自の科目設定を行っています。 ○ 運動部、文化部とも部活動が非常に活発で、優秀な成績をあげています。 ○ オーストラリアの高校との姉妹校提携など国際交流に力を入れており、毎年短期交換留学を実施しています。

選抜において重視する要件
(普通科) <ul style="list-style-type: none"> ○ 高校生活にしっかりとした目的意識をもち、目標に向かい意欲的に取り組める者 ○ 部活動、ボランティア活動、人権活動、国際交流等に積極的に取り組める者 (普通科・スポーツ科学コース) <ul style="list-style-type: none"> ○ 高校生活にしっかりとした目的意識をもち、目標に向かい意欲的に取り組める者 ○ 部活動等において優れた実績があり、本校の運動部活動で3年間継続して活動する意志のある者 ○ 学校行事等に積極的に参加し、学習意欲のある者

学科・コース名	検 査	実 施 概 要
普通科	面 接	集団面接（1グループ20分程度） 将来の進路希望やその実現に向けての意識、あるいは高校生活全般に対する関心、意欲等について応答する。
	作 文	50分・600字程度
普通科・ スポーツ科学 コース	面 接	集団面接（1グループ20分程度） 将来の進路希望やその実現に向けての意識、あるいは高校生活全般に対する関心、意欲等について応答する。
	実技検査	基本的な運動： ラジオ体操第一、マット運動を全員が受検する。 得意種目： 次の陸上競技2種目の中から受検者が事前に選択した1種目を受検する。 男子：100m走、1500m走 女子：100m走、1000m走 (注)天候によっては、種目を変更することがある。 100m走→25m2往復走 1500m走、1000m走→シャトルラン

《久居高等学校》

学科・ コース名	選 抜 方 法						
普通科	<p>1 選抜資料の取扱い</p> <p>(1) 調査書 点数化する。(第3学年の各教科の評定の合計 45点満点)</p> <p>(2) 面接 次の5つの項目について、総合的にA、B、Cの3段階で評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 志望動機 ・ 積極性 ・ 物事への関心 ・ 社会性 ・ 目的意識 <p>(3) 作文 次の5つの項目について、総合的にA、B、Cの3段階で評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ テーマとの整合性 ・ 内容、主張 ・ 表現の的確さ、明瞭さ ・ 文章の構成、説得力 ・ 字数、原稿用紙の使い方、誤字脱字 <hr/> <p>2 選抜方法</p> <p>次の各段階に該当する受検者について順に、調査書及び「自己推薦書」の記載事項を考慮して総合的に選抜する。</p> <p>(1) 第1段階 調査書得点の順位が募集人数の80%以内であり、面接、作文の評価がともにA段階である者</p> <p>(2) 第2段階 第1段階で合格となった者を除く全ての受検者</p>						
普通科・ スポーツ科学 コース	<p>1 選抜資料の取扱い</p> <p>(1) 調査書 点数化する。</p> <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>評定(第3学年の各教科の評定の合計)</td> <td style="text-align: right;">45点満点</td> </tr> <tr> <td>評定以外の記載事項</td> <td style="text-align: right;">最高 5点</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td style="text-align: right;">50点</td> </tr> </table> <p>(2) 面接 次の5つの項目について、総合的にA、B、Cの3段階で評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 志望動機 ・ 積極性 ・ 物事への関心 ・ 社会性 ・ 目的意識 <p>(3) 実技検査 75点</p> <hr/> <p>2 選抜方法</p> <p>次の各段階に該当する受検者について順に、調査書及び「自己推薦書」の記載事項を考慮して総合的に選抜する。</p> <p>(1) 第1段階 調査書得点及び実技検査得点のそれぞれの順位が全て募集人数の80%以内であり、面接の評価がA段階である者</p> <p>(2) 第2段階 第1段階で合格となった者を除く全ての受検者</p>	評定(第3学年の各教科の評定の合計)	45点満点	評定以外の記載事項	最高 5点	合 計	50点
評定(第3学年の各教科の評定の合計)	45点満点						
評定以外の記載事項	最高 5点						
合 計	50点						

《久居農林高等学校》

学 校 の 特 色
<p>本校は、農業と家庭の専門教育を通して、自然と勤労を愛し、地域や社会に積極的に貢献することのできる生徒を育てる専門高校を目指しています。</p> <p>本校には、以下のような特色があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 少人数教育による充実した学習指導 1クラス30人以下の少人数教育を実施しています。さらに、進路希望に応じて教科・科目選択の機会もあります。 ○ 特色あるコースで学べる専門教育 農業学科6コース、家庭学科3コースは、それぞれ特色ある学習内容でスペシャリストを目指します。 ○ 生徒の適性に応じた多様な進路指導 就職から進学まであらゆる進路実現ができる体制をとっています。また、国公立大学への進学についても力を入れています。 ○ 学習と部活動の両立 運動系部活動、文化系部活動とも活発に活動し、毎年全国大会、東海大会に進出するなど活躍しています。また、動物クラブ、林業クラブなど専門教育に関連する生産系の部活動も活躍しています。

選抜において重視する要件
<p>[生物生産科、生物資源科、環境情報科、環境土木科、生活デザイン科共通]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 強い志をもち、高等学校での学習に意欲的・継続的に取り組むとともに、その学習を生かした資格取得などに積極的に挑戦できる者 ○ 高等学校で学習する専門的な内容等を生かした明確な進路希望のある者 ○ 高等学校で、スポーツ・文化等の部活動に3年間意欲的・継続的に取り組める者 <p>(生物生産科)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 食品加工や食料生産等に関する学習に強い興味・関心、意欲があり、それらの専門性を生かした進路実現を目指す者 <p>(生物資源科)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 動物や植物等に関する学習に強い興味・関心、意欲があり、それらの専門性を生かした進路実現を目指す者 <p>(環境情報科)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自然環境や草花等に関する学習に強い興味・関心、意欲があり、それらの専門性を生かした進路実現を目指す者 <p>(環境土木科)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 農業土木や農業機械、緑化に関する学習に強い興味・関心、意欲があり、それらの専門性を生かした進路実現を目指す者 <p>(生活デザイン科)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 食生活・衣生活・リビング・保育等に関する学習に強い興味・関心、意欲があり、それらの専門性を生かした進路実現を目指す者

学 科 名	検 査	実 施 概 要
生物生産科 生物資源科 環境情報科	面 接	個人面接（10分程度） 「自己推薦書」の内容を中心に、志願者の目的意識・関心・意欲について応答する。
環境土木科 生活デザイン科	作 文	40分・400字程度

学 科 名	選 抜 方 法						
生物生産科 生物資源科 環境情報科 環境土木科 生活デザイン科	<p>1 選抜資料の取扱い</p> <p>(1) 調 査 書 点数化する。 <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>評定（第1～3学年の各教科の評定を換算）</td> <td style="text-align: right;">135点満点</td> </tr> <tr> <td>スポーツ・文化活動等の実績</td> <td style="text-align: right;">最高 20点</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td style="text-align: right;">155点</td> </tr> </table> </p> <p>(2) 面 接 A、B、C、D、Eの5段階で評価する。</p> <p>(3) 作 文 A、B、C、D、Eの5段階で評価する。</p> <p>2 選抜方法 次の各段階に該当する受検者について順に、調査書及び「自己推薦書」の記載事項を考慮して総合的に選抜する。</p> <p>(1) 第1段階 調査書得点の順位が募集人数のおよそ80%以内である者のうち、面接と作文の評価のいずれか一方がA段階であり、他方がC段階以上である者、または両方がB段階である者</p> <p>(2) 第2段階 調査書得点の順位が募集人数のおよそ90%以内である者のうち、面接と作文の評価のいずれか一方がB段階以上、他方がC段階以上である者</p> <p>(3) 第3段階 第1段階及び第2段階で合格となった者を除く全ての受検者</p>	評定（第1～3学年の各教科の評定を換算）	135点満点	スポーツ・文化活動等の実績	最高 20点	合 計	155点
評定（第1～3学年の各教科の評定を換算）	135点満点						
スポーツ・文化活動等の実績	最高 20点						
合 計	155点						

別表2

《白山高等学校》

学 校 の 特 色
<p>本校は、青山高原の東山麓、雲出川の中流域に位置しており、豊かな自然と落ち着いた学習環境に恵まれた、家庭的で温かい雰囲気のある学校です。</p> <p>またコミュニティ・スクールの理念を生かした地域連携に取り組み、「地域を愛し地域を活性化できる生徒の育成」を目指しています。</p> <p>小規模校のメリットを生かしたていねいな学習や、地域とのつながりを大切にした活動を中心に、きめ細かい指導とキャリア教育に力を入れています。</p> <p>多くの科目で少人数制や習熟度別などの講座編成を行い、「学習のしやすさ」と「授業のわかりやすさ」を工夫しています。</p> <p>地域を実習や体験学習の場にした科目や、コミュニケーション能力を重視した科目など、総合的な「人間力」を高める科目群があります。</p>

選抜において重視する要件
<p>〔普通科、情報コミュニケーション科共通〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本校の学校生活や学習活動、体験学習等の地域に根ざした教育活動に積極的に取り組む意欲のある者 ○ 部活動等において優れた実績があり、本校の部活動で3年間継続して活動する意志のある者 <p>(普通科)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 福祉に興味・関心があり、関連する資格取得を目指す者 <p>(情報コミュニケーション科)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 多様なメディアを活用し、情報発信能力を身につけたい者 ○ 情報処理やワープロに興味・関心があり、関連する資格取得を目指す者

学 科 名	検 査	実 施 概 要
普通科 情報コミュニケーション科	自己表現	個人面接（10分程度） 自分の特技等を自己アピールし、特技等から学んだことや自己の成長につながったこと等への応答を行う。また、志望動機等についても応答する。

学 科 名	選 抜 方 法
普通科 情報コミュニケーション科	<p>1 選抜資料の取扱い</p> <p>(1) 調査書 点数化する。（第3学年の各教科の評定の合計 45点満点）</p> <p>(2) 自己表現 次の4つの項目について、総合的にA、B、Cの3段階で評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自己表現の内容、発表方法 ・ 本校への志望動機、意欲 ・ 学科の内容についての理解 ・ 面接態度 <p>2 選抜方法</p> <p>(1)調査書の点数と(2)自己表現の評価をもとに、調査書及び「自己推薦書」の記載事項を考慮して総合的に選抜する。</p>

《上野高等学校》

学 校 の 特 色
<p>120年の歴史と伝統があり、多くの卒業生が各方面で活躍しています。地域からは、生徒の進路希望をサポートしてくれる進学校として信頼を得ています。</p> <p>学業と部活動の両立をモットーとしており、9割を超える生徒が部活動に加入しています。その中には東海大会や全国大会の場で活躍している部もあります。</p> <p>2019年度からは文部科学省よりスーパーサイエンスハイスクール（SSH）の指定を受けて、理数科・普通科共に探究教育活動に取り組み、学習活動の更なる充実を図っています。その中で生徒は自ら課題を発見しそれを克服・解決します。</p> <p>また、65分授業を採用し、毎日の授業を充実させて学習指導の更なる充実を図っています。生徒は授業後や放課後も積極的に教員に質問したり、教室や自習室、廊下の自習机などを活用したりして意欲的に学習に取り組んでいます。</p> <p>さらに、放課後、土曜日、長期休業等に課外授業を開講するなど学校をあげて一人ひとりの進路希望の実現をサポートします。</p>

選抜において重視する要件
<p>(理数科)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本校を志望する動機が明確で、入学後は本校のリーダーとなる資質・意欲をもっている者 ○ 学習意欲が旺盛で、理数科の学習内容および理数科行事への興味・関心が高く、優れた思考力・判断力・表現力を身に付け、主体的に学ぶことができる者 ○ 学習成績が優秀で、難関国立大学に進学を希望するなど、将来に対する意識を持っている者

学 科 名	検 査	実 施 概 要
理 数 科	面 接	個人面接（10分程度） 志望理由、将来の夢、理数科の学習内容および理数科行事への興味・関心、入学後の高校生活に対する思い等について応答する。
	学力検査	数学、英語

学 科 名	選 抜 方 法
理 数 科	<p>1 選抜資料の取扱い</p> <p>(1) 調査書 点数化する。（第3学年の国語・理科の各評定を2倍した点数の和と、その他の7教科の各評定の和の合計 55点満点）</p> <p>(2) 面接 A、B、Cの3段階で評価する。</p> <p>(3) 学力検査 100点（数学50点、英語50点）</p>
	<p>2 選抜方法</p> <p>(1)と(3)の合計点数をもとに、調査書及び「自己推薦書」の記載事項、面接の評価を考慮して総合的に選抜する。</p>

《あけぼの学園高等学校》

学 校 の 特 色
<p>各年次80名という小規模な学校であり、家庭的な雰囲気の中で一人ひとりを大切にすることを推進しています。</p> <p>学科は総合学科のみを設置しており、「美容服飾」「製菓調理」「健康福祉」「情報教養」という4つの系列のもと、多くの選択科目が用意されています。生徒が自ら希望する進路を実現するために、1つの系列の科目だけでなく、他の系列の科目からも選択することが可能です。</p> <p>授業では、習熟度別学習や少人数教育を取り入れ、生徒が学ぶよるこびや達成感を感じ取れるような展開を行っています。</p>

選抜において重視する要件
<p>(総合学科)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 志望動機が明確で、高校生活にしっかりとした目的意識をもつ者 ○ 総合学科の学習内容に対して強い興味・関心、意欲のある者 ○ 規範意識を強くもち、学校生活に積極的に取り組める者 ○ すべての教科に対して真面目に学習活動に取り組める者 ○ 将来の夢の実現に向け、チャレンジする向上心がある者

学 科 名	検 査	実 施 概 要
総合学科	面 接	個人面接(10分程度) 志望動機、将来の目標、中学校での活動等について応答する。
	作 文	30分・600字程度

学 科 名	選 抜 方 法
総合学科	<p>1 選抜資料の取扱い</p> <p>(1) 調 査 書 選抜方法の各段階において記載事項の全てを考慮する。</p> <p>(2) 面 接 A、B、Cの3段階で評価する。</p> <p>(3) 作 文 A、B、Cの3段階で評価する。</p>
	<p>2 選抜方法</p> <p>次の各段階に該当する受検者について順に、調査書及び「自己推薦書」の記載事項を考慮して総合的に選抜する。</p> <p>(1) 第1段階 面接と作文の評価がともにA段階である者</p> <p>(2) 第2段階 面接と作文の評価がともにB段階以上である者</p> <p>(3) 第3段階 第1段階及び第2段階で合格となった者を除く全ての受検者</p>

《伊賀白鳳高等学校》

学 校 の 特 色

- 工業、農業、商業、福祉の学科を有する三重県唯一の総合専門高校です。地域に根ざし、地元で活躍できる生徒の育成をめざします。
- 7つの学科（機械科、電子機械科、建築デザイン科、生物資源科、フードシステム科、経営科、ヒューマンサービス科）を設置しています。入学後に、13のコース（機械工学、ロボット、電気工学、建築・インテリア、デザイン、バイオサイエンス、生産ビジネス、フードサイエンス、パティシエ、ビジネス、マネジメント、介護福祉、生活福祉）に分かれて、職業に関する専門的な学習を行います。
- 3年間を通じた系統的なキャリア教育を推進し、生徒の興味・関心や適性に応じた進路が実現できるよう積極的に支援します。
- 企業と連携した伊賀版デュアルシステムを導入することにより、実践的かつ高度な専門教育を推進します。
- 部活動を奨励し、文化・スポーツ活動を通して心身を鍛えることにより、心豊かな人間性と個性を伸ばすことに努めます。
- 2年次からは、進学希望者に対応するため、専門科目に替えて普通教科・科目も選択することができます。
- 各種検定や職業資格の取得ができるよう補習授業等にも積極的に取り組みます。

選抜において重視する要件

[機械科、電子機械科、建築デザイン科、生物資源科、フードシステム科、経営科、ヒューマンサービス科共通]

- 学習活動にまじめに取り組むことができる者
- 健康管理、自己管理ができ、自己表現力とコミュニケーション能力のある者
- 校内外における自発的な活動（部活動、生徒会活動、人権活動、ボランティア活動等）に熱心に取り組み、入学後も継続して意欲的に活動できる者

(機械科)

- ものづくりに興味・関心があり、その分野の専門的な知識や技術の習得等に積極的に取り組む意欲のある者

(電子機械科)

- コンピュータ制御技術に興味・関心があり、新しい知識や技術の習得等に積極的に取り組む意欲のある者
- 電気技術に興味・関心があり、その分野の専門的な知識や技術の習得等に積極的に取り組む意欲のある者

(建築デザイン科)

- 技術・家庭に興味・関心があり、木材を使ったものづくりや建築に関する知識の習得等に根気強く取り組むことができる者
- 美術に興味・関心があり、その分野の専門的な知識や技術の習得等に積極的に取り組む意欲のある者

(生物資源科)

- 植物バイオテクノロジーに興味・関心があり、新しい知識や技術の習得等に積極的に取り組む意欲のある者
- 食料生産に興味・関心があり、その分野の専門的な知識や技術の習得等に積極的に取り組む意欲のある者

(フードシステム科)

- 安全で安心な食品の製造に興味・関心があり、その分野の専門的な知識や技術の習得等に積極的に取り組む意欲のある者
- 製菓に興味・関心があり、その分野の専門的な知識や技術の習得等に積極的に取り組む意欲のある者

(経営科)

- 販売や流通等に興味・関心があり、その分野の専門的な知識や技術の習得等に積極的に取り組む意欲のある者
- 経済や企業の経営等に興味・関心があり、その分野の専門的な知識や技術の習得等に積極的に取り組む意欲のある者

(ヒューマンサービス科)

- 福祉に関する分野で、特に介護に興味があり、高度な資格の取得等に積極的に取り組む意欲のある者
- 福祉や保育に興味・関心があり、その分野の専門的な知識や技術の習得等に積極的に取り組む意欲のある者

《伊賀白鳳高等学校》

学科名	検査	実施概要
機械科 電子機械科 建築デザイン科 生物資源科	面接	個人面接（10分程度） 志願する学科への志望動機、学習活動や部活動等への関心・意欲、進路に関する目的意識、目標等について応答する。
フードシステム科 経営科	作文	45分・2～3のテーマに対し、各150～200字
ヒューマン サービス科	学力検査	国語

学科名	選抜方法
機械科 電子機械科 建築デザイン科 生物資源科 フードシステム科 経営科 ヒューマン サービス科	<p>1 選抜資料の取扱い</p> <p>(1) 調査書 評定及び評定以外の記載事項を総合して、A、B、Cの3段階で評価する。</p> <p>(2) 面接 A、B、Cの3段階で評価する。</p> <p>(3) 作文 A、B、Cの3段階で評価する。</p> <p>(4) 学力検査 国語（50点満点）の得点を、A、B、Cの3段階で評価する。</p> <hr/> <p>2 選抜方法</p> <p>次の各段階に該当する受検者について順に、調査書及び「自己推薦書」の記載事項を考慮して総合的に選抜する。</p> <p>(1) 第1段階 調査書、面接、作文、学力検査の評価が全てA段階である者</p> <p>(2) 第2段階 面接の評価がA段階であることと、調査書、作文及び学力検査の評価が全てB段階以上であることの両方の条件を満たす者</p> <p>(3) 第3段階 第1段階及び第2段階で合格となった者を除く全ての受検者</p>

《名張高等学校》

学 校 の 特 色

○ 全体像

本校は「自律」「協調」「創造」を校訓とし、地域に信頼され社会に貢献する生徒の育成を目指す総合学科設置校です。生徒の夢の実現に向け、教職員が一丸となって「人間性と専門性」を育む教育スタイルを追究しています。

1年次「産業社会と人間」、2・3年次「総合的な探究の時間」では、生徒の自主自律を促し、主体的な進路実現ができるようきめ細かな指導を行います。カリキュラムは、100余りの多様な選択科目を設定して、教員、社会人講師、地域で活躍する方々が進学・就職指導に力を注いでいます。

生徒の進路先は、進学が60%、就職が40%となっており、総合学科の特色ある学びのシステムにより、幅広い進路実現を可能にしています。

部活動も盛んで、「吹奏楽部」「美術部」「放送部」「新聞部」「茶華道部」などの文化部をはじめ、運動部についても充実した施設設備を活用して「柔道部」「新体操部」「野球部」「サッカー部」「ソフトボール部」「テニス部」など人間性と競技力の向上を目指して、日々活動に励んでいます。

学校創立100周年という節目を過ぎ、次の世紀へ歩み始めました。この歩みを確実なものとし次世代へ引き継げるよう、仲間と一緒に、そして刺激を与える教員とともに、距離の近い人間関係とアットホームな校風を大切にしていきます。

○ 系列

「人文系列」

文系教科の国語・社会・英語を中心に3年間学習して、文系大学等へ進学できる力を身につけます。

「科学系列」

理系教科の数学・理科・英語を中心に3年間学習して、理系大学等へ進学できる力を身につけます。

「スポーツ系列」

保健体育に関する学習活動を通して「心」「技」「体」を鍛え、健康な生活をサポートできる力を身につけます。

「商業系列」

商業に関する専門的な学習を通して、ビジネスの場で主体的に活躍できる力を身につけます。

「生活デザイン系列」

家庭に関する専門的な学習を通して、ものづくりや自己表現に必要な技術や知識を養い、豊かな生活を創造する力を身につけます。

「芸術メディア系列」

音楽・美術・映像・放送表現の学習を通して創造力、自己表現力を培うとともに、学習成果を積極的に発信できる力を身につけます。

選抜において重視する要件

(総合的観点)

○ 学校生活

本校のカリキュラム、学習内容、部活動等、教育活動全般に対して強い興味・関心を持ち、入学後、積極的・意欲的に学校生活を送る意志のある者

(個別観点)

○ 学習について

国語、地理歴史、公民、数学、理科、英語、芸術、保健体育、商業、情報、家庭等の各教科に強い関心を持ち、得意分野の学習活動に意欲的に取り組む者

○ 部活動について

県大会等で優れた実績があり、入学後もその活動を3年間継続して行う意志のある者

○ 学校生活について

地域活動、生徒会活動、学級活動、ボランティア活動、人権活動、文化活動に積極的に取り組める者

○ 進路について

将来、地域社会の一員として地域の活性化や社会貢献をする意欲を持ち、向上心をもって自分の夢や目標の実現に努力する者

《名張高等学校》

学科名	検査	実施概要
総合学科	面接	個人面接（10分程度） 志望動機、学校生活への意欲、自己アピール等について応答する。
	学力検査	数学、英語

学科名	選抜方法						
総合学科	<p>1 選抜資料の取扱い</p> <p>(1) 調査書 点数化する。</p> <table style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>評定（第1～3学年の各教科の評定を換算）</td> <td style="text-align: right;">45点満点</td> </tr> <tr> <td>スポーツ・文化活動の実績</td> <td style="text-align: right;">最高 5点</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">合 計</td> <td style="border-top: 1px solid black; text-align: right;">50点</td> </tr> </table> <p>(2) 面接 A、B、C、D、Eの5段階で評価する。</p> <p>(3) 学力検査 100点（数学50点、英語50点）</p>	評定（第1～3学年の各教科の評定を換算）	45点満点	スポーツ・文化活動の実績	最高 5点	合 計	50点
	評定（第1～3学年の各教科の評定を換算）	45点満点					
スポーツ・文化活動の実績	最高 5点						
合 計	50点						
<p>2 選抜方法</p> <p>(1) 第1段階 調査書得点等によりおよそ募集人数に当たる数の者を選ぶ。選ばれた者のうち、面接の評価がC段階以上かつ学力検査得点の順位が募集人数のおよそ90%以内であることの両方の条件を満たす者</p> <p>(2) 第2段階 第1段階で合格となった者を除く全ての受検者</p>							

《名張青峰高等学校》

学 校 の 特 色
<p>名張青峰高等学校は、いずれも単位制の仕組みによる「普通科」と「普通科・文理探究コース」を設置し、生徒一人ひとりの自己実現と進路実現を図ります。</p> <p>「普通科」は、多様な選択科目を開講し、幅広い生徒の興味・関心・進路に対応します。</p> <p>「普通科・文理探究コース」は、探究的活動を重視した授業や放課後・休業中のセミナー、土日の自習室開放等により、国公立大学等への進学を目指します。</p> <p>名張青峰高等学校では、1人1台タブレットPCをはじめとする充実したICT環境を活用した授業、海外の姉妹校や留学生との交流等のグローバル教育、人権尊重をベースとした協働的・主体的学習態度の育成などにより、「未来を拓く力」、「グローバル化社会で活躍する力」、「人とつながる力」を育成します。</p>

選抜において重視する要件
<p>(普通科、普通科・文理探究コース共通)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 志望動機が明確で、高校生活にしっかりとした目的意識をもっている者 <p>(普通科)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 勉学・部活動・生徒会活動・人権活動等に積極的に取り組んでおり、入学後それらの活動に継続して意欲的に取り組める者 ○ 上級学校への明確な志望動機をもち、入学後各教科の学習に意欲的に取り組める者 <p>(普通科・文理探究コース)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 国公立大学や難関私立大学等への明確な志望動機をもち、入学後各教科の学習に意欲的に取り組める者

学 科 名	検 査	実 施 概 要
普 通 科	面 接	集団面接（1グループ20分程度） 進路に関する目的意識、学習に関する関心・意欲、規範意識、中学校時代の諸活動、入学後の学校生活の目標等について応答する。
	学力検査	数学、英語
普通科・ 文理探究 コース	学力検査	数学、英語

学 科 名	選 抜 方 法
普 通 科	<p>1 選抜資料の取扱い</p> <p>(1) 調査書 点数化する。(第3学年の評定の合計45点満点)</p> <p>(2) 面接 A、B、Cの3段階で評価する。</p> <p>(3) 学力検査 100点(数学50点、英語50点)</p>
	<p>2 選抜方法</p> <p>(1)と(3)の点数をもとに、調査書及び「自己推薦書」の記載事項、面接の評価を考慮して総合的に選抜する。</p>
普通科・ 文理探究 コース	<p>1 選抜資料の取扱い</p> <p>(1) 調査書 点数化する。(第1～3学年の評定の合計135点満点)</p> <p>(2) 学力検査 100点(数学50点、英語50点)</p>
	<p>2 選抜方法</p> <p>(1)と(2)の点数をもとに、調査書及び「自己推薦書」の記載事項を考慮して総合的に選抜する。</p>

《松阪高等学校》

学 校 の 特 色
<p>明治43年に創立した飯南女学校を前身として、松阪市民から「南高（ナンコウ）」または「松高（マツコウ）」と親しまれている歴史と伝統のある学校です。生徒のほとんどが大学等に進学し、その中でも四年制大学への進学が圧倒的に多く、充実した学習指導と的確な進路指導のもとで、生徒の自己実現に必要な力を養うことができます。授業は、「学問のおもしろさや楽しさ」を体感できるように工夫されており、自らの興味や関心を深め、目的を持った大学選びにつながるようになっています。</p> <p>文部科学省よりSSH（スーパーサイエンスハイスクール）の指定を受け、課題発見・課題解決能力の育成をとおして主体的、対話的で深い学びを行います。この2年間の探究活動の中で、大学の先生の講話を聞いたり、大学や研究施設とも連携をします。そこから、「何のために学ぶのか」という問いに対する答えを自らが追求し、自分の将来について考える機会を多く持つようになっています。授業改善を図り、授業内容を充実するとともに、授業時間もしっかりと確保しています。また、土曜講座を開催し、課外学習体制も充実しています。</p> <p>生徒一人ひとりの個性を大切にし、自ら考え、自ら行動できる人を育てることを教育目標とし、学習にも部活動にも一生懸命に取り組むことができる、文武両道に充実した学校です。</p>

選抜において重視する要件
<p>(理数科)</p> <p>○ 将来を担うリーダーとして社会貢献できる「高い志と夢」を有し、難関国公立大学や医学部への進学を希望し、全ての教科に強い興味・関心をもって意欲的に取り組むことができる者</p>

学 科 名	検 査	実 施 概 要
理 数 科	学力検査	数学、英語

学 科 名	選 抜 方 法
理 数 科	<p>1 選抜資料の取扱い</p> <p>(1) 調査書 点数化する。(第3学年の各教科の評定の合計 45点満点)</p> <p>(2) 学力検査 200点(数学50点、英語50点をそれぞれ2倍する。)</p> <hr/> <p>2 選抜方法</p> <p>次の各段階に該当する受検者について順に、調査書及び「自己推薦書」の記載事項を考慮して総合的に選抜する。</p> <p>(1) 第1段階 調査書得点と学力検査得点の合計点数の順位が募集人数のおよそ90%以内である者</p> <p>(2) 第2段階 第1段階で合格となった者を除く全ての受検者</p>

《松阪工業高等学校》

学 校 の 特 色

明治35年に当時全国唯一の応用化学専攻の三重県立工業学校として開校以来、百十余年の歴史を誇る伝統ある学校です。

創立当時の木造校舎の外壁は、実験の影響で黒変することのないようにと朱色に塗装されていました。この外壁に由来する校訓「赤壁魂」（せきへきたましい）とは、本校生徒が学校生活を通して積極的に自己の人格を高め、勉学に励み、知識・技術を身につけて「社会に必要とされる人間になれ」という、創立当初からの松工精神を伝える言葉です。

創立以来、常に時代に即し、充実した工業教育が行われ、二万人を超える先輩が産業界をはじめ各界で活躍しています。

工業化学科は、創立以来の伝統を引き継ぎ、県内だけでなく全国へ優秀な人材を送り出しています。

機械、自動車の2学科も、それぞれ県内の工業高校の中で最も早く設置され、伝統と実績を誇っています。

電気工学科は、電気主任技術者の資格取得者数で、全国の高校で常に上位の実績があります。

繊維デザイン科は、繊維のみならず幅広くデザイン、美術、工芸の学習ができる学科であり、多くの美術系大学への進学実績があります。

また、各種の資格取得生徒数は、全国工業高校の中で常に上位に入る実績があります。

選抜において重視する要件

〔機械科、電気工学科、工業化学科、繊維デザイン科、自動車科共通〕

○ 部活動に興味と意欲をもっている者

（機械科）

○ ものづくりに興味・関心があり、資格取得にも積極的に取り組める者

（電気工学科）

○ 身の回りの電気や電化製品に興味・関心があり、将来技術者を目指している者

○ 資格取得によって、自分の力量を高めていきたいという意欲のある者

（工業化学科）

○ 化学実験や物質の成り立ちに興味・関心があり、ものづくりや資格取得に積極的に取り組める者

（繊維デザイン科）

○ デザインや美術・工芸に関する興味・関心があり、専門的な知識・技能を身につけたい者

（自動車科）

○ 専門的な知識や技術の習得及び資格取得に積極的に取り組める者

学 科 名	検 査	実 施 概 要
機 械 科 電 気 工 学 科 工 業 化 学 科 自 動 車 科	面 接	集団面接（1グループ20分程度） 専門学科に関する興味・関心、意欲について応答する。 部活動に関する興味と意欲について応答する。
	作 文	60分・2題・各300字程度
繊 維 デ ザ イ ン 科	面 接	個人面接（10分程度） デザインや美術、工芸等の創造的な仕事、自己表現やものづくりに関する興味・関心、意欲について応答する。個人作品の持ち込み可。
	実技検査	鉛筆デッサン（休憩を含む120分） 用具：鉛筆、消しゴム（練り消しゴム可）、鉛筆削り用カッターナイフ（受検者が持参） 用紙：B3画用紙（高等学校で用意）

《松阪工業高等学校》

学科名	選 抜 方 法
機 械 科 電 気 工 学 科 工 業 化 学 科 自 動 車 科	<p>1 選抜資料の取扱い</p> <p>(1) 調 査 書 点数化する。 評定（第3学年の各教科の評定の合計を2倍） 90点満点 評定以外の記載事項 最高 10点 <hr/> 合 計 100点</p> <p>(2) 面 接 次の5つの項目について評価し、点数化する。（30点満点）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 志望の動機、目的意識 ・ 学科の内容への興味・関心 ・ 中学校での活動 ・ 高校生活への意欲 ・ 面接態度 <p>(3) 作 文 次の4つの項目について評価し、点数化する。（20点満点）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 課題に即した内容 ・ 表現、展開の適切さ ・ 学科に対する興味・関心 ・ 表記の正確さ <hr/> <p>2 選抜方法 (1)～(3)の合計点数をもとに、調査書及び「自己推薦書」の記載事項を考慮して総合的に選抜する。</p>
織 維 デ ザ イ ン 科	<p>1 選抜資料の取扱い</p> <p>(1) 調 査 書 点数化する。（第3学年の各教科の評定の合計 45点満点） (2) 面 接 A、B、Cの3段階で評価する。 (3) 実 技 検 査 15点</p> <hr/> <p>2 選抜方法 次の各段階に該当する受検者について順に、調査書及び「自己推薦書」の記載事項を考慮して総合的に選抜する。</p> <p>(1) 第1段階 面接の評価がB段階以上であることと、調査書得点と実技検査得点の合計の順位が募集人数の80%以内であることの両方の条件を満たす者 (2) 第2段階 第1段階で合格となった者を除く全ての受検者</p>

《松阪商業高等学校》

学 校 の 特 色

本校は大正9年の創立以来、松阪地域唯一の商業高校として幾多の歴史を刻んできました。現在は、「商業」に関する学科（情報ビジネス科、情報システム科）と「国際」（英語）に関する学科（国際教養科）を有する県内で唯一の単位制専門高校です。「単位制」の特色を活かして、生徒一人ひとりが自らの興味や関心、適性に応じた多様な科目選択をおこない、進路実現を図れるようになっていきます。

- 情報ビジネス科は、商業（ビジネス）について総合的に学習できる学科です。簿記、情報処理、流通ビジネスの各分野の幅広い科目の中から進路希望に応じて科目を選択することができます。生徒は、簿記、情報処理、ビジネス文書などの幅広い検定の取得に積極的に取り組み、それを進学や就職に活かしています。
- 情報システム科は、商業教育の視点に立った情報教育を行い、情報化社会で活躍できる人材を育成する学科です。情報の専門分野においてコンピュータの操作、情報収集力、分析力、活用方法、問題解決能力等を身に付けることができます。生徒は、情報分野の国家試験をはじめ、簿記などの検定に積極的に取り組み、取得した資格を進学や就職に活かしています。
- 国際教養科は、英語に重点を置き、主に文科系大学への進学を目指す学科です。生徒一人ひとりの進路実現が図れるよう、少人数授業を展開しています。また、2名の外国人講師との授業を通して、効果的に英語の力を伸ばすことができます。さらに科目選択により、看護や医療系への進学も可能となっています。

選抜において重視する要件

〔情報ビジネス科、情報システム科、国際教養科共通〕

- 入学後も学習活動・部活動いずれにも意欲的に取り組む者

（情報ビジネス科）

- 簿記やコンピュータ、ビジネス経済全般の学習に興味・関心があり、これらをはじめとする分野の資格取得（検定試験等）などにも積極的に取り組む者

（情報システム科）

- プログラミングやネットワークなど、専門的なコンピュータの学習に興味・関心があり、これらをはじめとする分野の資格取得（検定試験等）などにも積極的に取り組む者

（国際教養科）

- 英語や外国の文化・社会などの学習に興味・関心があり、これらをはじめとする分野の資格取得（検定試験等）などにも積極的に取り組む者

学科名	検 査	実 施 概 要
情報ビジネス科 情報システム科	面 接	集団面接（1グループ20分程度） 志望動機、学科に係る興味・関心や理解、高校生活への意欲、目的意識等について 応答する。
	作 文	60分・600～800字
国際教養科	面 接	集団面接（1グループ20分程度） 志望動機、学科に係る興味・関心や理解、高校生活への意欲、目的意識等について 応答する。
	学力検査	国語、英語

《松阪商業高等学校》

学科名	選 抜 方 法						
情報ビジネス科 情報システム科	<p>1 選抜資料の取扱い</p> <p>(1) 調査書 点数化する。</p> <table border="0" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: right;">評価（第3学年の各教科の評価の合計）</td> <td style="text-align: right;">45点満点</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">評価以外の記載事項</td> <td style="text-align: right;">最高 10点</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td style="text-align: right;">55点</td> </tr> </table> <p>(2) 面接 A、B、C、D、Eの5段階で評価する。</p> <p>(3) 作文 A、B、C、D、Eの5段階で評価する。</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>2 選抜方法</p> <p>次の各段階に該当する受験者について順に、調査書及び「自己推薦書」の記載事項を考慮して総合的に選抜する。</p> <p>(1) 第1段階 調査書得点の順位が募集人数の80%以内であることと、面接と作文の評価がともにB段階以上であることの両方の条件を満たす者</p> <p>(2) 第2段階 調査書得点の順位が募集人数の100%以内であることと、面接と作文の評価がともにB段階以上であることの両方の条件を満たす者</p> <p>(3) 第3段階 第1段階及び第2段階で合格となった者を除く全ての受験者</p>	評価（第3学年の各教科の評価の合計）	45点満点	評価以外の記載事項	最高 10点	合 計	55点
評価（第3学年の各教科の評価の合計）	45点満点						
評価以外の記載事項	最高 10点						
合 計	55点						
国際教養科	<p>1 選抜資料の取扱い</p> <p>(1) 調査書 点数化する。</p> <table border="0" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: right;">評価（第3学年の各教科の評価の合計）</td> <td style="text-align: right;">45点満点</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">評価以外の記載事項</td> <td style="text-align: right;">最高 10点</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td style="text-align: right;">55点</td> </tr> </table> <p>(2) 面接 A、B、C、D、Eの5段階で評価する。</p> <p>(3) 学力検査 100点（国語50点、英語50点）</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>2 選抜方法</p> <p>次の各段階に該当する受験者について順に、調査書及び「自己推薦書」の記載事項を考慮して総合的に選抜する。</p> <p>(1) 第1段階 調査書得点と学力検査得点の合計の順位が募集人数の80%以内であることと、面接の評価がB段階以上であることの両方の条件を満たす者</p> <p>(2) 第2段階 調査書得点と学力検査得点の合計の順位が募集人数の100%以内であることと、面接の評価がB段階以上であることの両方の条件を満たす者</p> <p>(3) 第3段階 第1段階及び第2段階で合格となった者を除く全ての受験者</p>	評価（第3学年の各教科の評価の合計）	45点満点	評価以外の記載事項	最高 10点	合 計	55点
評価（第3学年の各教科の評価の合計）	45点満点						
評価以外の記載事項	最高 10点						
合 計	55点						

《飯南高等学校》

学 校 の 特 色

本校は、連携型中高一貫教育やキャリア教育等のこれまでの様々な取組を通して、毎年着実に進化を続け、大きくレベルアップしてきました。生徒は、周りの人を思いやる優しい心と基礎・基本の学力をしっかりと身につけたうえで、各々の興味・関心、意欲をのばしていく課題解決型学習を実践しています。このことは、本校教育の柱になっています。

1年次は、科目「産業社会と人間」において、多くの体験学習を通じて自分自身を発見し、自分の生き方を模索しながら次年度に学ぶ学習内容を決め、系列を選択します。2年次は、選択した系列学習に取り組むとともに、学校設定科目「キャリアデザイン」で進路を模索します。3年次は、科目「いいなんゼミ」で3年間の集大成として各々が学習した内容を発表し、進路実現に取り組めます。このように3年間の系統立ったキャリア教育をとおして、自分が興味・関心のある学習に取り組みながら、「いきる力」を磨き、自立できる人間を目指しているのが本校の学びです。

本校は、この学びによって社会に出た時に本当に役に立つ力をつけていく学校、ひとりでも多く「飯南高校に来て良かった」と思って卒業していく学校、地域とともに発展していく学校を目指しています。

このように本校では、生徒一人ひとりの成長を支援するとともに、生徒一人ひとりが目標をもって学ぶことにより、学校全体として活発な教育活動が展開されています。

そして、生徒も教職員も生き生きとし、地域に歓迎され、全員が満足のいく学校づくりを目指しています。

選抜において重視する要件

(総合学科)

○ 総合学科の学習活動を主体的、積極的、継続的かつ誠実に行える者

学 科 名	検 査	実 施 概 要
総合学科	面 接	個人面接（10分程度） 本校総合学科の学習に関する興味・関心、意欲等について応答する。
	作 文	50分・200字程度を3題。

学 科 名	選 抜 方 法
総合学科	1 選抜資料の取扱い (1) 調査書 点数化する。(第1～3学年の各教科の評定の合計 135点満点) (2) 面 接 次の3つの観点により評価する。(A, B, C, Dの4段階で評価する) ・ 本校を志望する動機、目的意識が明確か。 ・ 学科の内容についての理解ができているか。 ・ 面接態度(応答の的確さ、明瞭さなど)が良好であるか。 (3) 作 文 次の3つの観点により評価する。(A, B, C, Dの4段階で評価する) ・ 本校を志望する動機、目的意識が明確か。 ・ テーマに沿って適切に書かれているか。 ・ 表現・表記が適切であるか。
	2 選抜方法 (1)～(3)をもとに、調査書及び「自己推薦書」の記載事項を考慮して総合的に選抜する。

《相可高等学校》

学 校 の 特 色

普通科、生産経済科、環境創造科、食物調理科の4学科をもつ総合高校として、各学科の特色を生かしながら、「生徒の夢をかなえ、地域と共に歩む学校」を教育理念に、意欲と活力ある学校を目指しています。

普通科は、単位制を導入し、興味・関心、将来の進路希望に応じた多様な選択科目の中から学ぶことができます。また、課外指導、習熟度別授業などきめ細かい指導を行っています。従来のアドバンスクラスで培ったノウハウや指導を普通科2クラスに行い、国公立大学をはじめとした四年制大学や専門学校への進学、官公庁や一般企業への就職など、それぞれの進路に応じたカリキュラムにより、多様な進路希望の実現を図っています。

生産経済科では、動植物の「生産」に加え、それらを「福祉」や「環境保全」にも応用する「流通」や「経済」を学びます。また、人や環境に優しい産業人の育成を目指し、「園芸福祉」活動にも力を入れています。これらの学習を、地元企業との共同商品開発や大学との共同研究、地域の保育園や社会福祉施設等への訪問など、実践活動として行っています。総合実習と専攻実習では、「園芸」「松阪牛」「果樹」「作物」の4部門で専門的な知識・技術を学びます。

環境創造科は、生活の基盤を支える「まちづくり」と「国土保全」を基本にしなが、人々が自然と共存していくための循環型社会の形成を目標に、新たな環境を創造していくことができる技術者の養成を目指して、平成21年度に農業土木科から学科改編しました。「専門的な知識・技術を身につけ、進路保障につなげる」という教育目標を堅持しながら、国公立大学等への進学や、国家・地方公務員への就職を目指し、社会に貢献できる専門的人材の育成を行っています。また、資格取得を目標に学ぶことによって、『自ら学ぶ力』の育成を行っています。

食物調理科は、食のリーダーの育成を目指します。県内の高校で唯一、卒業と同時に調理師免許が取得できる「調理師コース」と、製菓・製パンを中心に学習し、希望者は製菓衛生師の資格を取得できる「製菓コース」があります。全国的にも注目されている研修施設「まごの店」「まごの店スイーツ」では、休業日を利用してながら調理・製菓から接客・販売に至る店の経営等について総合的・実践的に学んでいます。

選抜において重視する要件

(普通科)

- 高い志を持ち、希望進路の実現に向けて意欲を持って持続的に学習に取り組む者
- 部活動に意欲があり、継続して活動する意志のある者

(生産経済科)

- 農業・環境・福祉に関して興味・関心、意欲があり、将来、就農を志す者または関連する分野への進学や就職を強く希望する者
- 各種検定や資格取得に意欲のある者
- 部活動に意欲があり、継続して活動する意志のある者

(環境創造科)

- 専門分野の学習に興味・関心、意欲があり、明確な進路希望をもち、その実現に向けて意欲的に学習に取り組む者
- 各種検定や資格取得に意欲のある者
- 部活動に意欲があり、継続して活動する意志のある者

(食物調理科)

- 食物に関する分野で、特に調理、製菓に興味・関心、意欲があり、高度な知識・技術を習得し、将来、食に関する分野への進路を強く希望する者

学 科 名	検 査	実 施 概 要
普 通 科	面 接	個人面接（7分程度） 中学校生活、志望動機、進路希望や進路に対する意識、目的意識、学習や部活動等への意欲等について応答する。
	作 文	50分・500～600字
生 産 経 済 科	面 接	個人面接（7分程度） 生産経済科への志望動機、学習したい専門分野の内容、取得したい資格、将来の進路について応答する。また、農業・環境・福祉分野に関する興味・関心や基礎的な知識について応答する。
	作 文	50分・2題・各200字程度
環 境 創 造 科	面 接	個人面接（7分程度） 志望動機、将来像、中学校で培ったもの、資格取得等について応答する。
	作 文	50分・500字程度

《相可高等学校》

学科名	検査	実施概要
食物調理科	面接	個人面接（7分程度） 食物調理科で学びたいことや、将来への夢について応答する。
	小論文	50分・400字程度 「食」に関連した内容について自分の考えを述べる。
	グループ 討議	グループに分かれて討議を行う。（1グループ40分程度） 食産業を担う職業人に求められるコミュニケーション力をみる。 ① 与えられた食に関する課題について、自分の意見を述べる。 ② 他の発表者の意見に対し、感想や意見を述べる。

学科名	選抜方法
普通科 生産経済科 環境創造科	<p>1 選抜資料の取扱い (1) 調査書 点数化する。(第1～3学年の各教科の評定の合計 135点満点) (2) 面接 A、B、Cの3段階で評価する。 (3) 作文 A、B、Cの3段階で評価する。</p> <hr/> <p>2 選抜方法 次の各段階に該当する受検者について順に、調査書及び「自己推薦書」の記載事項を考慮して総合的に選抜する。 (1) 第1段階 調査書得点の順位が募集人数の70%以内であることと、面接及び作文の評価が全てB段階以上であることの両方の条件を満たす者 (2) 第2段階 面接及び作文の評価が全てB段階以上である者のうち、調査書の記載事項において「選抜において重視する要件」に特に合致していると認められる者 (3) 第3段階 第1段階及び第2段階で合格となった者を除く全ての受検者</p>
食物調理科	<p>1 選抜資料の取扱い (1) 調査書 点数化する。(第1～3学年の各教科の評定の合計 135点満点) (2) 面接 A、B、Cの3段階で評価する。 (3) 小論文 A、B、Cの3段階で評価する。 (4) グループ討議 A、B、Cの3段階で評価する。</p> <hr/> <p>2 選抜方法 次の各段階に該当する受検者について順に、調査書及び「自己推薦書」の記載事項を考慮して総合的に選抜する。 (1) 第1段階 調査書得点の順位が募集人数の70%以内であることと、面接、小論文及びグループ討議の評価が全てB段階以上であることの両方の条件を満たす者 (2) 第2段階 面接、小論文及びグループ討議の評価が全てB段階以上である者のうち、調査書の記載事項において「選抜において重視する要件」に特に合致していると認められる者 (3) 第3段階 第1段階及び第2段階で合格となった者を除く全ての受検者</p>

《昴学園高等学校》

学 校 の 特 色	
<p>○ 本校では次のような人材育成と学校づくりを目指しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 何事にも誠実にかつ意欲的に取り組むとともに、思いやりを持って人と接することができる人材の育成 ・ 地域との連携を深め、地域から信頼されるとともに地域から必要とされる開かれた学校づくり <p>○ 本校は平成7年に設立された全国で唯一の全寮制総合学科高校です。（大台町、大紀町、多気町の生徒は通学も可能です。）</p> <p>○ 学校は大台ヶ原山系の麓の豊かな自然のなかにあり、その自然を生かした学習や地域と連携した独自の取組を行っています。</p> <p>○ 総合学科では、ていねいな少人数教育が実施されるとともに、学習内容を生かしつつ地域と結びついた特色ある活動が進められています。</p> <p>○ 寮には充実した設備が備えられ、規律ある集団生活のもとで快適な生活を送ることができます。また、季節毎の行事やサークル活動など生徒を中心とした自主的な活動が行われています。</p> <p>○ 全校討論会や韓国との交流・学習成果発表会・全ての系列による地元小中学校への出前授業など、特色ある取組も行っていきます。</p> <p>このような特色ある独自の教育システムと取組を通じて、生徒の自主性・自律性・協調性などを育みながら、個性と能力を伸ばす教育を行っています。</p>	

選抜において重視する要件
<p>(総合学科)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 総合学科の学習に強く興味・関心をもち、誠実に学習に取り組める者 ○ 寮・学校において協調性をもち、積極的に集団生活をしていける者

学 科 名	検 査	実 施 概 要
総合学科	面 接	個人面接（15分程度） 志望理由、中学校生活の振り返り、高校生活への抱負、進路希望等について応答する。
	作 文	45分・800字以内

学 科 名	選 抜 方 法
総合学科	<p>1 選抜資料の取扱い</p> <p>(1) 調査書 点数化する。（第1～3学年の各教科の評定を換算 40点満点）</p> <p>(2) 面接 A、B、C、Dの4段階で評価する。</p> <p>(3) 作文 A、B、C、Dの4段階で評価する。</p>
	<p>2 選抜方法</p> <p>(1)の点数と面接及び作文の評価をもとに、調査書及び「自己推薦書」の記載事項を考慮して総合的に選抜する。</p>

《明野高等学校》

学 校 の 特 色
<p>本校は、創立以来139年という長い歴史を有し、農業関係学科と家庭関係学科を中心に発展してきました。地域の活性化に貢献できる人材の育成を目指し、また、社会の変化に対応できるグローバル人材の育成を目指しています。</p> <p>特に、農業関係学科である生産科学科、食品科学科は、農業や関連産業に必要な知識・技術を身に付け、諸問題を合理的に解決する科学的な思考力を高め、様々な進路に対応できる学科となっています。生活教養科や福祉科も、それぞれの特色に合わせて充実した内容となっています。</p> <p>本校では、広大な敷地と緑豊かな学習環境の中で、資格取得を目指して生徒たちが意欲的に学習や課題研究に取り組んでいます。</p> <p>また、放課後の部活動に取り組む生徒や、農業クラブ・家庭クラブなどの活動を通して地域連携に励む生徒など、様々な分野に精力的に取り組む、明るく活気のある生徒がたくさんいます。</p>

選抜において重視する要件
<p>〔生産科学科、食品科学科、生活教養科、福祉科共通〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 基本的な生活習慣及び社会性が身につけている者 ○ スポーツや文化活動に優れており、入学後も継続して活動する者 <p>(生産科学科)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 将来、農業自営者となり、地域のリーダーを目指す者 ○ 動植物の飼育・栽培に興味・関心があり、積極的に実習に取り組むことができる者 ○ 農業に関連した職業や農業関連学科への進学を目指す者 ○ 資格取得や検定合格に積極的に取り組むことができる者 <p>(食品科学科)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 将来、食品関連会社で製造や研究に取り組む技術者を目指す者 ○ 食の安全への意識が強く、清潔な身なりや整理整頓ができる者 ○ 与えられた仕事を最後までやり遂げる忍耐力と責任感がある者 ○ 資格取得や検定合格に積極的に取り組むことができる者 <p>(生活教養科)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 衣・食に興味・関心があり、高校生活にしっかりとした目的・目標をもつ者 ○ 将来、専門性を生かした就職や進学を目指す者 ○ 全ての教科に対して、真面目かつ意欲的で、資格取得に積極的に取り組むことができる者 <p>(福祉科)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 福祉に興味・関心があり、意欲的に学習に取り組むことができる者 ○ 将来、福祉分野で活躍しようという希望をもっている者 ○ 資格取得に積極的に取り組むことができる者

学 科 名	検 査	実 施 概 要
生産科学科 食品科学科 生活教養科	面 接	集団面接（1グループ20分程度） 志望動機、意欲・熱意、自己PR、学科の内容について応答する。
福 祉 科	作 文	45分・550～650字

《明野高等学校》

学科名	選 抜 方 法
生産科学科 食品科学科 生活教養科 福祉科	<p>1 選抜資料の取扱い</p> <p>(1) 調査書 点数化する。(第1～3学年の各教科の評定の合計 135点満点)</p> <p>(2) 面接 A、B、C、D、Eの5段階で評価する。</p> <p>(3) 作文 A、B、C、D、Eの5段階で評価する。</p> <hr/> <p>2 選抜方法</p> <p>次の各段階に該当する受検者について順に、調査書及び「自己推薦書」の記載事項を考慮して総合的に選抜する。</p> <p>(1) 第1段階 調査書得点の順位が募集人数の80%以内であることと、面接と作文の評価がともにB段階以上であることの両方の条件を満たす者</p> <p>(2) 第2段階 面接と作文の評価がともにB段階以上の者のうち、調査書の記載事項においてスポーツ・文化活動等の実績等が顕著であると認められる者</p> <p>(3) 第3段階 第1段階及び第2段階で合格となった者を除く全ての受検者</p>

《宇治山田高等学校》

学 校 の 特 色

宇治山田高等学校は、旧制宇治山田中学校と宇治山田高等女学校を前身とする創立120年の伝統ある高校です。卒業生は3万人を超え、三重県内だけでなく、日本各地や世界中で活躍しています。この輝かしい歴史と伝統を大切にしながら、中学生や保護者及び地域の期待に応えるため、学校改革を大胆に実行し、新しい「山高」の歴史を創造していきます。本校が学校づくりを進めるにあたって、目標としているのは以下の3点です。

- 1 国公立大学を中心とする進学希望を実現する進学校であること
- 2 勉学と部活動の両面で充実感が得られる学校であること
- 3 社会人として必要な知識や教養を習得し、人間力を高める学校であること

選抜において重視する要件

(普通科)

- 中学校における各教科の学習成績が良好であり、国語、社会、数学、理科及び英語の5教科において特に高い能力を有する者
- 本校への明確な志望動機をもち、入学後は国公立大学への進学などの進路目標の達成や部活動等に積極的に取り組む者

学科名	検 査	実 施 概 要
普通科	学力検査	数学、英語

学科名	選 抜 方 法
普通科	1 選抜資料の取扱い (1) 調査書 点数化する。 (第3学年の国語・社会・数学・理科・英語の5教科の評定の合計 25点満点) (2) 学力検査 100点(数学50点、英語50点)
	2 選抜方法 (1)と(2)の合計点数をもとに、調査書及び「自己推薦書」の記載事項を考慮して総合的に選抜する。

《宇治山田商業高等学校》

学 校 の 特 色
<p>「部活動が盛ん」で「就職に強い」という山商の伝統は従来から変わっていません。</p> <p>「進学にも強い」これが山商のもう一つの特色です。現在は60%を超える生徒が進学し、そのうち多くの生徒が国公立大学・難関私立大学を含む四年制大学に進んでいます。大学に進むほとんどの生徒は、山商で取得する簿記や情報、英語の検定資格を生かして推薦やAO入試で進学しています。</p> <p>山商の生徒は、普段の授業を大切にして勉強と部活動を両立させながら、希望する進路を実現しています。そして、みんなが明るく挨拶を交わしあい、楽しく充実した高校生活を送ることができる学校です。</p>

選抜において重視する要件
<p>〔商業科、情報処理科、国際科共通〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習成績に優れ、入学後も高い学習意欲を維持できる者 ○ 本校の部活動に熱心に取り組むことができる者 <p>(商業科)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 簿記をはじめとする各種検定の取得に取り組む意欲を有する者 ○ 専門(簿記、商業)を生かして就職・大学進学等の進路希望を実現しようとする者 ○ 学習成績が優秀で、部活動等において県大会等で優れた実績があり、入学後もその活動を継続して行う意志がある者 <p>(情報処理科)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ コンピュータの学習に興味と関心を有する者 ○ 情報、簿記等の各種検定の取得に取り組む意欲を有する者 ○ 専門(情報、簿記)を生かして就職・大学進学等の進路希望を実現しようとする者 ○ 学習成績が優秀で、部活動等において県大会等で優れた実績があり、入学後もその活動を継続して行う意志がある者 <p>(国際科)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 英語の資質に優れ、英語の学習に強い興味を有する者 ○ 英語をはじめとする各種検定の取得に取り組む意欲を有する者 ○ 専門(英語、簿記)を生かして大学進学・就職等の進路希望を実現しようとする者 ○ 学習成績が優秀で、部活動等において県大会等で優れた実績があり、入学後もその活動を継続して行う意志がある者

学 科 名	検 査	実 施 概 要
商 業 科 情 報 処 理 科	面 接	集団面接(1グループ20分程度) 志望動機、期待する高校生活、中学校時代の活動状況等について応答する。
	学 力 検 査	国語
国 際 科	面 接	集団面接(1グループ20分程度) 志望動機、期待する高校生活、中学校時代の活動状況等について応答する。
	学 力 検 査	英語

学 科 名	選 抜 方 法						
商 業 科 情 報 処 理 科 国 際 科	<p>1 選抜資料の取扱い</p> <p>(1) 調査書 点数化する。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: right;">評定(第1～3学年の各教科の評定を換算)</td> <td style="text-align: right;">70点満点</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">スポーツ・文化活動の実績、資格等</td> <td style="text-align: right;">最高 20点</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td style="text-align: right;">90点</td> </tr> </table> <p>(2) 面接 A、B、C、D、Eの5段階で評価する。</p> <p>(3) 学力検査 50点</p>	評定(第1～3学年の各教科の評定を換算)	70点満点	スポーツ・文化活動の実績、資格等	最高 20点	合 計	90点
	評定(第1～3学年の各教科の評定を換算)	70点満点					
スポーツ・文化活動の実績、資格等	最高 20点						
合 計	90点						
	<p>2 選抜方法</p> <p>次の各段階に該当する受検者について順に、調査書及び「自己推薦書」の記載事項を考慮して総合的に選抜する。</p> <p>(1) 第1段階 面接の評価がC段階以上である者のうち、調査書得点の順位が募集人数のおよそ100%以内であることと、学力検査得点の順位が募集人数のおよそ80%以内であることの両方の条件を満たす者</p> <p>(2) 第2段階 面接の評価がC段階以上である者のうち、調査書得点の順位が募集人数のおよそ100%以内であることと、学力検査得点の順位が募集人数のおよそ90%以内であることの両方の条件を満たす者</p> <p>(3) 第3段階 第1段階及び第2段階で合格となった者を除く全ての受検者</p>						

《伊勢工業高等学校》

学 校 の 特 色
<p>南勢地区唯一の施設・設備の整った工業専門高校として、「人づくり」と「ものづくり」をキーワードとし、基本的な生活習慣を身につけた社会常識のある明るく素直で積極的な生徒の育成と、産業界から求められる確かな技術・技能を修得するため、意欲的に励む生徒の育成を目標としています。</p> <p>実験・実習においては10人で1班の少人数指導を実施しています。また、2年次からは進学コースと専門コースに分かれて学習するコース制を導入し、さらに各種資格取得のための個別指導を行い、個人の特性を伸ばす工夫をしています。部活動も盛んで、毎年全国大会に出場するなど、各種大会に参加して好成績を収めています。</p>

選抜において重視する要件
<p>〔機械科、電気科、建築科共通〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習活動に意欲的である者 ○ 部活動において優れた実績があり、入学後も部活動に意欲的に取り組むことができる者 ○ 生徒会活動や学級活動、ボランティア活動などに積極的に取り組むことができる者 ○ 志望動機が明確で、目的意識をもった者 ○ 基本的な生活習慣が身につけている者 ○ 将来の夢に向けて、チャレンジする向上心がある者

学 科 名	検 査	実 施 概 要
機 械 科 電 気 科 建 築 科	面 接	集団面接（1グループ20分程度） 志願学科に対する興味・関心、意欲、目的意識等について応答する。
	作 文	50分・1項目のテーマに対し、550～600字

学 科 名	選 抜 方 法
機 械 科 電 気 科 建 築 科	<p>1 選抜資料の取扱い</p> <p>(1) 調査書 点数化する。（第1～3学年の各教科の評定の合計 135点満点）</p> <p>(2) 面接 次の項目について、A、B、Cの3段階で評価する。 志望動機、適性と興味・関心、学習意欲、リーダー的素質、態度等</p> <p>(3) 作文 A、B、Cの3段階で評価する。</p> <hr/> <p>2 選抜方法</p> <p>次の各段階に該当する受検者について順に、調査書及び「自己推薦書」の記載事項を考慮して総合的に選抜する。</p> <p>(1) 第1段階 調査書得点の順位が募集人数の70%以内であることと、面接と作文の評価がともにB段階以上であることの両方の条件を満たす者</p> <p>(2) 第2段階 調査書得点の順位が募集人数の100%以内であることと、面接と作文の評価がともにB段階以上であることのいずれかの条件を満たす者のうち、調査書の記載事項においてスポーツ・文化活動等の実績が顕著であると認められる者</p> <p>(3) 第3段階 第1段階及び第2段階において合格となった者を除く全ての受検者</p>

《南伊勢高等学校》

学 校 の 特 色
<p>南伊勢高等学校は、「自らの力で自分の将来を切り開き、地域社会に貢献するひとを育成する学校」を目指しています。この基本理念を踏まえ、両校舎では、これまでの教育成果や特長を生かし、一人ひとりの個性や能力に応じたきめ細かな教育を大切にしています。</p> <p>また、特色である校舎制を活用した教育活動を行うとともに、合同の部活動や学校行事等を通じて生徒の交流を促進しています。</p> <p><南勢校舎> 自らの興味・関心や進路希望に応じ地域と密着した学習ができるよう「地域創生アドバンス」「ビジネス」の2コースを設置し、生徒一人ひとりを大切にした教育を推進しています。</p> <p><度会校舎> 2年次からは、個々の進路選択に柔軟に対応できるよう教養コースと実践コースに分かれます。また、タブレットを使った授業や自己学習支援にも取り組んでいます。</p>

選抜において重視する要件
<p>(普通科)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 目的意識を明確にもち、自己実現に向けて意欲的に取り組む者 ○ 体験学習など、地域に根ざした教育活動に積極的に取り組む意欲のある者 ○ 部活動、文化活動に継続的に取り組む意欲のある者

学 科 名	検 査	実 施 概 要
普 通 科	面 接	個人面接（10分程度） 中学校での活動、「選抜において重視する要件」に係る目的意識や意欲等について応答する。
	作 文	45分・500～600字

学 科 名	選 抜 方 法						
普 通 科	<p>1 選抜資料の取扱い</p> <p>(1) 調査書 点数化する。</p> <table style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>評定（第1～3学年の各教科の評定の合計）</td> <td>135点満点</td> </tr> <tr> <td>評定以外の記載事項</td> <td>最高 15点</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td style="border-top: 1px solid black;">150点</td> </tr> </table> <p>(2) 面接 A、B、C、D、Eの5段階で評価する。</p> <p>(3) 作文 A、B、C、D、Eの5段階で評価する。</p>	評定（第1～3学年の各教科の評定の合計）	135点満点	評定以外の記載事項	最高 15点	合 計	150点
	評定（第1～3学年の各教科の評定の合計）	135点満点					
評定以外の記載事項	最高 15点						
合 計	150点						
	<p>2 選抜方法</p> <p>(1)の点数と面接及び作文の評価をもとに、調査書及び「自己推薦書」の記載事項等を考慮して総合的に選抜する。</p>						

《鳥羽高等学校》

学 校 の 特 色
<p>「総合学科」には、将来の生き方や進路を考える指針やヒントになる、様々な学習の場が用意されています。自分の夢を実現するために必要な学習計画の立て方や自分の適性について学ぶ授業もあります。選択科目として、4つの系列の科目があります。</p> <p>1. 「観光ビジネス系列」は、地域とコラボレーションしながら、国際観光都市としての鳥羽を考える。</p> <p>2. 「スポーツ健康系列」は、地域の海を活用した野外活動学習やゴルフ等を中心とした生涯スポーツ学習を通じて、地域のスポーツ振興に資する技術の習得を目指す。</p> <p>3. 「総合福祉系列」は、福祉の分野を中心に、生活に関する基礎的な知識と技術を身につけることを目指す。</p> <p>4. 「文理進学系列」は、自分の夢を実現するため、各教科の基礎を身につけ、関心のある分野・領域に関する学びを発展させることにより、大学等での専門的な研究につなげることを目標とする。</p> <p>系列とは、進路に結びつけた学習メニューであり、それぞれの系列には、目標と適性に合わせた選択科目が用意されております。</p>

選抜において重視する要件
<p>(総合学科)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 総合学科の学習内容に興味・関心があり、意欲を持って学習に取り組める者 ○ 学習を通して、積極的に進路実現を目指す者 ○ 部活動、ボランティア活動について、継続して活動する意欲のある者 ○ 規範意識や基本的生活習慣が身につけており、学校生活に積極的に取り組める者 ○ 将来、地域社会で活躍し、地域に貢献しようとする意欲のある者

学 科 名	検 査	実 施 概 要
総合学科	面 接	個人面接（10分程度） 自己PRを含めた志望動機、中学校生活の振り返り、高校生活への抱負、将来の希望等について応答する。
	作 文	50分・600字

学 科 名	選 抜 方 法
総合学科	<p>1 選抜資料の取扱い</p> <p>(1) 調 査 書 点数化する。（第3学年の各教科の評定の合計 45点満点）</p> <p>(2) 面 接 以下の点に留意して、A、B、C、D、Eの5段階で評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 面接時の態度 ・ 自己PR、志望動機、本校への関心・意欲、将来への目標等 <p>(3) 作 文 以下の点に留意して、A、B、C、D、Eの5段階で評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ テーマとの整合性 ・ 述べられている内容・主張 ・ 文章の表現 ・ 誤字脱字等、字数の不足・超過等
	<p>2 選抜方法</p> <p>(1)の点数と面接及び作文の評価をもとに、調査書及び「自己推薦書」の記載事項を考慮して総合的に選抜する。</p>

《志摩高等学校》

学 校 の 特 色
<p>本校は生徒の9割以上が志摩市内の中学校出身であることから、地域に根ざした教育活動を展開しています。生徒は明るくのびのびと高校生活を送っています。</p> <p>平成8年度に「志摩地域から大学へ」という地元の強い要望に応じて、国際コースを設置し、多様な進路希望に対応できるよう選択科目を幅広く設定するとともに、大学進学を希望する生徒の指導を系統立てて行うなど進学指導に取り組んでおり、成果も上がってきています。</p> <p>就職希望者も多いことから、普通科高校でありながら商業科等で実施されている資格取得にも取り組んでおり、きめ細かい面接指導と合わせて、生徒はほぼ希望どおりの就職を決めています。</p> <p>このように進路希望の実現を図りつつ、地域の期待に応えていけるよう「次代の地域を担う人材の育成」に努めています。また、全ホームルームにプロジェクタを設置し、「ICTを活用したわかりやすい授業」を目指した取組も推進しています。</p> <p>部活動の加入率が極めて高いのも特徴であり、多くの部が熱心に活動しています。また、さまざまな学校行事等を通して保護者と教職員が一層連携することにより、生徒一人ひとりを大切にする教育につなげています。</p>

選抜において重視する要件
<ul style="list-style-type: none"> ○ 大学進学・就職等の進路実現を目指して、学習に意欲的に取り組むことができる者 ○ 部活動で実績があり、入学後も部活動に積極的に取り組むことができる者 ○ 人権活動、地域の諸活動等で実績があり、入学後も積極的に取り組むことができる者

学科・コース名	検 査	実 施 概 要
普 通 科	面 接	個人面接（5分程度） 中学時代の活動及び高校生活への関心・意欲について応答する。
	作 文	40分・400字程度

学科・コース名	選 抜 方 法
普 通 科	<p>1 選抜資料の取扱い</p> <p>(1) 調 査 書 点数化する。（第1～3学年の各教科の評定の合計 135点満点）</p> <p>(2) 面 接 A、B、C、D、Eの5段階で評価する。</p> <p>(3) 作 文 A、B、C、D、Eの5段階で評価する。</p>
	<p>2 選抜方法</p> <p>次の各段階に該当する受検者について順に、調査書及び「自己推薦書」の記載事項を考慮して総合的に選抜する。</p> <p>(1) 第1段階 調査書得点の順位が募集人数の90%以内であり、面接と作文の評価がともにB段階以上である者</p> <p>(2) 第2段階 調査書得点の順位が募集人数の100%以内であり、面接と作文の評価のいずれか一方がB段階以上、他方がC段階以上である者</p> <p>(3) 第3段階 第1段階及び第2段階で合格となった者を除く全ての受検者</p>

《水産高等学校》

学 校 の 特 色

本校は創立117年の伝統を持ち、県内で唯一、水産・海洋について専門的に学ぶことができる学校です。校舎は英虞湾を望む高台にあり、豊かな自然と温暖な気候に恵まれた環境の中で、生徒は伸び伸びと学校生活を送っています。

2つの学科（海洋・機関科、水産資源科）、5つのコースにおいて、海、船、魚のスペシャリストの育成を目指しています。1学年では幅広く水産に関する基礎を学び、2学年からは興味や進路、適性にあわせてコースを選択し、より専門性の高い学習を行います。

○ 海洋・機関科

1学年では、航海と水産・海洋工学分野の基礎を学びます。2学年からは専門性の高い3つのコース（海洋コース、機関コース、水産工学コース）に分かれて学習します。

「海洋コース」

航海や海に関する知識・技術を習得し、海技士（航海）・1級小型船舶操縦士の資格を取得し、水産業界をはじめとする各産業界や地域に貢献できる、船舶の操船に関するスペシャリストを養成します。

「機関コース」

約3ヶ月の航海実習を実施し、大型船の機関士を目指すために必要な知識や技術を取得することを目標とします。併せて海技士（機関）・1級小型船舶操縦士・ボイラー技士・電気工事士・危険物取扱者・溶接等の資格を取得し、水産業界をはじめとする各産業界や地域に貢献できる人材を育成します。

「水産工学コース」

ディーゼルエンジン・ボイラー・冷凍機・ポンプなどの構造・取扱いや、機械材料・機械製図・機械加工（旋盤・溶接）等について学びます。併せて1級小型船舶操縦士・ボイラー技士・電気工事士・冷凍機械取扱者・危険物取扱者・情報処理検定・ビジネス文書実務検定等の資格を取得し、水産業界をはじめとする各産業界や地域に貢献できる人材を育成します。

○ 水産資源科

1学年では、資源増殖分野と食品加工分野の基礎を学びます。2年生からは、「アクアフードコース」と「アクアデザインコース」に分かれて学習を行います。

「アクアフードコース」

乾製品、ねり製品、佃煮、缶・ビン詰、燻製品などの水産加工についての実習を行い、水産食品の品質管理や安全管理についての知識・技術を習得するとともに、流通についても学習し、調理を含めた食に関する学習を行います。

「アクアデザインコース」

海洋環境や海洋生物について学習し、海洋生物の種苗生産や飼育管理、アクアリウム（水槽での飼育・展示）の設計について実習を行います。また、水産生物の養殖技術や水揚げ加工技術、流通についても学習を行います。地域産業である真珠養殖についても学習し、パールジュエリーの制作に関する知識・技術を習得します。

本校では、進路実現のために資格取得に力を入れており、多くの生徒が積極的に様々な資格に挑戦し、資格を活かすことで高い就職率となっています。また、推薦枠を使って、水産系の国公立大学、私立大学への進学も可能です。

選抜において重視する要件

〔海洋・機関科、水産資源科共通〕

- 水産学科の内容に対して理解があり、本校への明確な志願理由をもつ者
- 他人を思いやる心と社会性をもち、校内外の自発的な活動に継続して取り組む意欲のある者

（海洋・機関科）

- 船舶の運航や漁業に興味・関心があり、学校生活を意欲的に過ごせる者
- マリンスポーツなど広く海洋に関することに興味・関心があり、学校生活を意欲的に過ごせる者
- エンジンの運転操作や機械の構造に興味・関心があり、学校生活を意欲的に過ごせる者
- 学習に関連する様々な資格や検定を積極的に取得する意欲のある者

（水産資源科）

- 水産物の調理・加工、食品製造、食品衛生、商品の流通等に興味・関心があり、学校生活を意欲的に過ごせる者
- 海洋生物、海洋環境、魚類養殖・アクアリウム、真珠養殖・真珠アクセサリ等に興味・関心があり、学校生活を意欲的に過ごせる者

《水産高等学校》

学科名	検査	実施概要
海洋・機関科 水産資源科	面接	個人面接（5～10分） 志望動機等について応答する。
	作文	40分・400字程度

学科名	選抜方法									
海洋・機関科 水産資源科	<p>1 選抜資料の取扱い</p> <p>(1) 調査書 点数化する。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: right;">評定</td> <td style="text-align: right;">45点満点</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">評定以外の記載事項</td> <td style="text-align: right;">最高12点</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">57点</td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td>(2) 面接 A、B、C、D、Eの5段階で評価する。</td> </tr> <tr> <td>(3) 作文 A、B、C、D、Eの5段階で評価する。</td> </tr> </table> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>2 選抜方法</p> <p>次の各段階に該当する受検者について順に、調査書及び「自己推薦書」の記載事項を考慮して総合的に選抜する。</p> <p>(1) 第1段階 調査書得点の順位が募集人数の100%以内である者のうち、面接の評価がA段階で作文の評価がC段階以上である者</p> <p>(2) 第2段階 調査書得点の順位が募集人数の100%以内である者のうち、面接の評価がB段階で作文の評価がC段階以上である者</p> <p>(3) 第3段階 第1段階及び第2段階で合格となった者を除く全ての受検者</p>	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: right;">評定</td> <td style="text-align: right;">45点満点</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">評定以外の記載事項</td> <td style="text-align: right;">最高12点</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">57点</td> </tr> </table>	評定	45点満点	評定以外の記載事項	最高12点	合計	57点	(2) 面接 A、B、C、D、Eの5段階で評価する。	(3) 作文 A、B、C、D、Eの5段階で評価する。
	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: right;">評定</td> <td style="text-align: right;">45点満点</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">評定以外の記載事項</td> <td style="text-align: right;">最高12点</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">57点</td> </tr> </table>	評定	45点満点	評定以外の記載事項	最高12点	合計	57点			
評定	45点満点									
評定以外の記載事項	最高12点									
合計	57点									
(2) 面接 A、B、C、D、Eの5段階で評価する。										
(3) 作文 A、B、C、D、Eの5段階で評価する。										

《尾鷲高等学校》

学 校 の 特 色
<p>目指す学校像は「個に応じ個を生かす教育の実践」「当たり前が普通のできる生徒の育成」です。地域に1つの高等学校として、進学にも就職にも対応できる、地域から信頼され愛される学校を目指しています。</p> <p>(普通科) 大学(四年制大学、短大等)への進学を目指す学科です。 習熟度に応じて学力を伸ばす授業を実施することで、希望進路の実現をはかります。</p> <p>(普通科・プログレッシブコース) 国公立大学や難関私立大学の合格を目指すコースです。 目標達成や実力アップのために、 ① 授業の進度を早めることで早期から受験に備えることができます。 ② 全国模試による実力診断で自分の学習ペースが把握できます。 ③ 週2回の7限授業や補習、夏休み学習合宿などで生徒の学習をフォロー、バックアップします。</p> <p>(情報ビジネス科) 「ビジネス社会に即応できるスペシャリスト」を目指した商業に関する専門学科です。 「働くための力」が身につきます。簿記やコンピュータ等のビジネスに関する専門科目を、豊富な実習をまじえ、希望進路に応じて学習していきます。取得した検定資格を生かして、就職はもちろん、進学も可能です。大学進学のための指定校制度もあります。ビジネス関係・商業系の検定資格に1年次から挑戦できます。</p> <p>(システム工学科) 「ものづくりのスペシャリスト」を目指した工業に関する専門学科です。 進路に応じた機械系、電気系の科目選択ができます。実習形式の授業も豊富で「働くための力」が身につきます。大手企業の指定枠があり、取得した資格は就職に有利なだけでなく、大学進学のための指定校制度もあり、進学も可能です。工業系の検定資格に1年次から挑戦できます。</p>

選抜において重視する要件
<p>(普通科) <input type="radio"/> 大学等への進学を希望し、普通科の教科に興味・関心をもって意欲的に取り組める者</p> <p>(普通科・プログレッシブコース) <input type="radio"/> 国公立大学・難関私立大学への進学を希望し、普通科の教科に興味・関心をもって意欲的に取り組める者</p> <p>(情報ビジネス科) <input type="radio"/> コンピュータ、ワープロ、簿記等のビジネスに関する学習に興味・関心があり、検定資格取得に意欲的に取り組める者 <input type="radio"/> 部活動で継続して活動する意欲を有する者</p> <p>(システム工学科) <input type="radio"/> 工業学科の学習に興味・関心があり、工業関係の資格取得に意欲的に取り組める者 <input type="radio"/> 部活動で継続して活動する意欲を有する者</p>

学科・コース名	検 査	実 施 概 要
普通科 普通科・ プログレッシブ コース	面 接	集団面接(1グループ15分程度) 志望動機、入学後や将来の目標等について応答する。
情報ビジネス科 システム工学科	学力検査	数学、英語

《尾鷲高等学校》

学科・ コース名	選 抜 方 法
普通科 普通科・ プログレッシブ コース	1 選抜資料の取扱い (1) 調査書 点数化する。(第3学年の各教科の評定の合計 45点満点) (2) 面接 次の4つの項目について評価し、点数化する。(10点満点) ・ 本校、本学科を志望する動機、目的意識 ・ 学科の内容についての理解 ・ 高校生活への意欲 ・ 面接態度(応答の的確さ、明瞭さなど) (3) 学力検査 100点(数学50点、英語50点) <hr/> 2 選抜方法 (1)～(3)の合計点数をもとに、調査書及び「自己推薦書」の記載事項を考慮して総合的に選抜する。
情報ビジネス科 システム工学科	1 選抜資料の取扱い (1) 調査書 点数化する。(第3学年の各教科の評定の合計を2倍 90点満点) (2) 面接 次の4つの項目について評価し、点数化する。(10点満点) ・ 本校、本学科を志望する動機、目的意識 ・ 学科の内容についての理解 ・ 高校生活への意欲 ・ 面接態度(応答の的確さ、明瞭さなど) (3) 学力検査 100点(数学50点、英語50点) <hr/> 2 選抜方法 (1)～(3)の合計点数をもとに、調査書及び「自己推薦書」の記載事項を考慮して総合的に選抜する。

《木本高等学校》

学 校 の 特 色
<p>文武両道の校風のもと、自ら学び主体的に行動できる自立した生徒を育てます。</p> <p>(普通科) 主に大学進学を目的としています。理系大学進学希望者と文系難関大学進学希望者は1年次より選抜コースで学習します。文系大学・高等看護専門学校進学希望者は1年次より普通コースで学習します。</p> <p>(総合学科<単位制>) 複数の選択科目の中から、自らの興味・関心や進路希望に応じて選択して学ぶ学科で、主に専門学校進学と就職に対応しています。</p> <p>1年次では芸術を除き、全員同じ科目を履修します。特に「産業社会と人間」の授業を通して、将来の生き方や進路について考え、勤労観や職業観を身につけることを目指します。数学・英語に関しては、中学校と高校の橋渡しをする学習を取り入れ、基礎学力の向上・定着を図ります。</p> <p>2年次からは、自分の進路や興味・関心に応じて、たとえば、資格取得を目的とした科目を集中的に学習したり、就職に適した科目を多く学習したりすることが可能です。</p>

選抜において重視する要件
<p>(総合学科)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 志望動機が明確で、高校生活にしっかりとした目標・目的意識をもった者 ○ 学業が優秀であり、真面目に学習活動に取り組める者 ○ 中学校3年間継続した部活動を行った者 ○ 部活動等の公式大会等で優れた実績があり、入学後もその活動を継続して行う意志のある者

学 科 名	検 査	実 施 概 要
総合学科	面 接	個人面接（5分程度） 学習・部活動等、高校生活へのしっかりとした目的意識や意欲について応答する。
	学力検査	数学、英語

学 科 名	選 抜 方 法												
総合学科	<p>1 選抜資料の取扱い</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">(1) 調査書</td> <td style="width: 60%;">点数化する。</td> <td style="width: 25%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td>評定（第3学年の各教科の評定の合計）</td> <td style="text-align: right;">45点満点</td> </tr> <tr> <td></td> <td>評定以外の記載事項</td> <td style="text-align: right;">最高 25点</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">70点</td> </tr> </table> <p>(2) 面接 次の2つの項目について評価し、点数化する。（10点満点）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高校生活への目的意識や意欲 ・ 応答の的確さ、明瞭さ、面接態度など <p>(3) 学力検査 100点（数学50点、英語50点）</p>	(1) 調査書	点数化する。			評定（第3学年の各教科の評定の合計）	45点満点		評定以外の記載事項	最高 25点		合 計	70点
	(1) 調査書	点数化する。											
	評定（第3学年の各教科の評定の合計）	45点満点											
	評定以外の記載事項	最高 25点											
	合 計	70点											
	<p>2 選抜方法</p> <p>(1)～(3)の合計点数をもとに、調査書及び「自己推薦書」の記載事項を考慮して総合的に選抜する。</p>												

《紀南高等学校》

学 校 の 特 色
<ul style="list-style-type: none"> ○ コミュニティ・スクールの特徴を生かし、地域と協働した学校づくりを進めています。 ○ 生徒会活動、部活動、ボランティア活動を通じて地域社会に貢献する人材の育成を目指しています。 ○ 将来、社会的・職業的に自立できるように3年間を通したキャリア教育に力を入れるとともに、国語・数学・英語の学び直しに取り組み、基礎学力の定着を図っています。また、2年次には「就労体験（長期インターンシップ）」を開講し、選択者は1年間にわたって地元の福祉施設や保育所、販売店、製造会社など様々な職場で働くことで、勤労観や職業観の醸成、コミュニケーション能力の向上を図ります。 ○ 多岐にわたる生徒の進学希望を実現するために、2年次では5群、3年次では8群より授業を選択できます。また、地域の歴史や文化、自然などを通して学びを深める授業も用意しており、「地域産業とみかん」という学校と地域行政が協働して行う科目もあります。

選抜において重視する要件
<p>(普通科)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本校への明確な志望動機をもち、自己実現に向けて意欲的に取り組む者 ○ 学習活動や資格取得に積極的に取り組む者 ○ 部活動に意欲的に取り組む者 ○ 生徒会活動、ボランティア活動等、地域に密着した活動に意欲的に取り組む者

学科名	検 査	実 施 概 要
普通科	面 接	個人面接（10分程度） 本校の「選抜において重視する要件」を中心に応答する。
	学力検査	国語

学科名	選 抜 方 法						
普通科	<p>1 選抜資料の取扱い</p> <p>(1) 調査書 点数化する。</p> <table style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>評定（第3学年の各教科の評定の合計）</td> <td style="text-align: right;">45点満点</td> </tr> <tr> <td>評定以外の記載事項</td> <td style="text-align: right; border-bottom: 1px solid black;">最高10点</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td style="text-align: right;">55点</td> </tr> </table> <p>(2) 面 接 A、B、C、D、Eの5段階で評価する。</p> <p>(3) 学力検査 50点(国語)</p>	評定（第3学年の各教科の評定の合計）	45点満点	評定以外の記載事項	最高10点	合 計	55点
	評定（第3学年の各教科の評定の合計）	45点満点					
評定以外の記載事項	最高10点						
合 計	55点						
<p>2 選抜方法</p> <p>次の各段階に該当する受検者について順に、調査書及び「自己推薦書」の記載事項を考慮して総合的に選抜する。</p> <p>(1) 第1段階 面接の評価がC段階以上である者のうち、調査書得点の順位が募集人数の100%以内であることと、学力検査得点の順位が募集人数の80%以内であることの両方の条件を満たす者</p> <p>(2) 第2段階 第1段階で合格となった者を除く全ての受検者</p>							

定時制課程

《四日市工業高等学校》

学 校 の 特 色
<p>機械交通工学科（定員40人）、住システム工学科（定員40人）の2学科で、それぞれ学科別に募集します。1年次は普通教科と工業に関する基礎に重点を置いて学習します。2年次から、機械交通工学科では「機械コース」・「自動車コース」、住システム工学科では「電気コース」・「建築コース」の中から自分に適したコースを選択し、各コースに分かれて専門的な学習をします。どの学科・コースにおいても工業に関する各種の資格取得が可能です。</p>

選抜において重視する要件
<p>〔機械交通工学科、住システム工学科共通〕 ○ 定時制工業高等学校で学習することに強い意欲を有する者で、目的意識が明確な者</p>

学 科 名	検 査	実 施 概 要
機械交通 工学科	面 接	個人面接（15分程度） 工業に関する興味・関心、意欲等について応答する。
住システム 工学科	作 文	45分・600字程度
	実技検査	10分程度 中学校技術・家庭（技術分野）に係る作業

学 科 名	選 抜 方 法
機械交通 工学科 住システム 工学科	<p>1 選抜資料の取扱い (1) 調査書 点数化する。（第1～3学年の各教科の評定の合計 135点満点） (2) 面接 A、B、Cの3段階で評価する。 (3) 作文 A、B、Cの3段階で評価する。 (4) 実技検査 A、B、Cの3段階で評価する。</p> <hr/> <p>2 選抜方法 (1)～(4)のうち、特に(2)の結果を重視し、調査書及び「自己推薦書」の記載事項を考慮して総合的に選抜する。</p>

《北星高等学校》

学 校 の 特 色
<p>学校として弾力的なカリキュラムを設定し、生徒一人ひとりの持ち味を生かした「あなたならではの学び」をつくりだせるように支援します。</p> <p>また、社会に出て自立できる力を身につけられるように支援します。</p> <p>○ 単位制・三修制 学年制ではないので、必修科目を含めて74単位以上の履修・修得で卒業できます。他部履修や通信制科目の併修により、3年間での卒業が可能です。</p> <p>○ 昼間部（午前、午後）、夜間部の三部制 午前、午後、夜間のいずれかに所属して授業を受けます。</p> <p>○ 総合選択制 定時制には、普通科と情報ビジネス科がありますが、両学科の全ての科目を履修することができます。情報ビジネス科の指定された科目を履修、修得できた場合は、情報ビジネス科の卒業となります。</p> <p>○ 特徴のある科目 基礎学習のできるステップ科目や、ライフマナー、ガーデンライフ、星座とギリシャ神話などの学校設定科目により、学びたい気持ちを大切に育てます。</p>

選抜において重視する要件
<p>〔普通科（昼間部）、情報ビジネス科（昼間部）、普通科（夜間部）共通〕</p> <p>○ 夢の実現を目指し、本校の特色をよく理解し、本校で学び成長する意欲がある者</p>

学 科 名	検 査	実 施 概 要
普 通 科 （昼間部） 情報ビジネス科 （昼間部） 普 通 科 （夜間部）	自己表現	自己表現（3分）＋個人面接（5分程度） 「自己表現」は、事前課題に基づき、各自が準備した作文（課題作文）を持参し、発表する。

学 科 名	選 抜 方 法
普 通 科 （昼間部） 情報ビジネス科 （昼間部） 普 通 科 （夜間部）	<p>1 選抜資料の取扱い</p> <p>(1) 調査書 点数化せず、選抜において資料とする。</p> <p>(2) 自己表現 次の①、②の点数を合計する。</p> <p>① 自己表現の部分は、次の5つの項目について評価し、点数化する。(60点満点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 課題との整合性 ・ 表現力（発表時間を含む。） ・ 具体性 ・ 意欲 ・ 独創性 <p>② 個人面接の部分は、次の4つの項目について評価し、点数化する。(90点満点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本校（定時制課程）についての理解 ・ 志望の動機、目的意識 ・ 高校生活に対する意欲・向上心 ・ 面接態度 <hr/> <p>2 選抜方法</p> <p>(2)の自己表現による点数をもとに、調査書及び「自己推薦書」の記載内容を考慮して総合的に選抜する。</p>

《飯野高等学校》

学 校 の 特 色	
<p>充実した多文化共生教育やキャリア教育等とおして、多様な学習ニーズを有する生徒たちが、自信と誇りをもって社会で生きる力を養成し、生徒たちが将来、社会の構成員として生活し、これからの新しい社会を創造していく力を育みます。</p>	
○	<p>複合型定時制システム 夜間定時制課程ですが、生徒の生活状況に合わせた履修ができるようにⅠ部（15:50～19:25）、Ⅱ部（17:35～21:10）の学習時間帯を設置しています。</p>
○	<p>全日制・定時制相互履修 全日制・定時制双方に共通する学習ニーズに対応するため、定時制生徒は全日制5・6限設置の学校設定科目を、全日制生徒は定時制1・2限設置の学校設定科目を履修することができます。</p>
○	<p>単位制 生徒の興味・関心、能力・適性、進路希望等に応じた自由な科目選択が可能です。</p>
○	<p>二学期制 9月卒業が可能のように学期毎の単位認定を行います。</p>
○	<p>三年修業制 北星高校の通信制課程の科目を履修することなど多様な学びの形態を取り入れることにより、3年間での卒業も可能にします。</p>
○	<p>少人数の学級編成 各学年を少人数に分割して学級編成を行います。</p>

選抜において重視する要件	
<p>(普通科)</p>	
<p>○ 本校の特色をよく理解し、目的意識が明確で学習意欲があり、かつ学校生活を適正に行うことのできる者</p>	

学科名	検 査	実 施 概 要
普通科	面 接	<p>個人面接（10分程度） 志望動機、意欲・関心等について応答する。</p>
	作 文	<p>45分・800字以内</p>

学科名	選 抜 方 法
普通科	<p>1 選抜資料の取扱い (1) 調 査 書 点数化せず、選抜において資料とする。 (2) 面 接 次の4つの項目について評価し、点数化する。（65点満点） ・ 本校（定時制課程）についての理解 ・ 志望動機、目的意識 ・ 学習に対する関心・意欲 ・ 面接態度 (3) 作 文 次の2つの項目について評価し、点数化する。（35点満点） ・ 内容（テーマとの整合性、考えの明確さ等） ・ 表記（字数、誤字脱字、漢字・原稿用紙の使い方等）</p>
	<p>2 選抜方法 (2)と(3)の合計点数をもとに、調査書及び「自己推薦書」の記載事項を考慮して総合的に選抜する。</p>

《みえ夢学園高等学校》

学 校 の 特 色
<p>自分をみつめ、夢の実現に向けてチャレンジできる学校</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 普通科と専門学科の内容を併せもつ総合学科です。 2 自分の学びたい科目を選択し、自分独自の時間割を作成して学習できる単位制の学校です。 3 個性を生かした少人数教育を重視しています。 4 生徒は、午前の部・午後の部・夜間部のどれかの部に所属します。 5 授業は、午前の部・午後の部・夜間部とも各4時間です。 6 他の部の授業をあわせて履修することにより、3年間で卒業することもできます。 7 午前の部・午後の部・夜間部に、それぞれ特色ある3つの系列があります。

選抜において重視する要件
<p>(総合学科)</p> <p>○ 総合学科の教育内容に対して強い興味・関心を持ち、しっかりとした目標・目的意識をもって積極的に学ぼうとする意志のある者</p>

学 科 名	検 査	実 施 概 要
総合学科 (午前の部) (午後の部) (夜間部)	面 接	個人面接(15分程度) 志望動機、将来の目標等について応答する。
	作 文	45分・600字程度
	総合問題	45分(国語・社会・数学・理科・英語の各分野から総合的に出題する。)

学 科 名	選 抜 方 法
総合学科 (午前の部) (午後の部) (夜間部)	<p>1 選抜資料の取扱い</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 調査書 点数化する。(第1～3学年の各教科の評定を換算 20点満点) (2) 面 接 A、B、C、D、Eの5段階で評価する。 (3) 作 文 A、B、C、D、Eの5段階で評価する。 (4) 総合問題 30点
	<p>2 選抜方法</p> <p>次の各段階に該当する受検者について順に、調査書及び「自己推薦書」の記載事項を考慮して総合的に選抜する。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 第1段階 面接と作文の評価がともにB段階以上である者のうち、調査書得点の順位が募集人数の100%以内であることと、総合問題得点の順位が募集人数の100%以内であることの両方の条件を満たす者 (2) 第2段階 面接と作文の評価がともにB段階以上である者のうち、調査書得点の順位が募集人数の100%以内であることと、総合問題得点の順位が募集人数の100%以内であることのいずれかの条件を満たす者 (3) 第3段階 面接と作文の評価がともにC段階以上である者のうち、調査書得点の順位が募集人数の30%以内であることと、総合問題得点の順位が募集人数の30%以内であることの両方の条件を満たす者 (4) 第4段階 第1段階、第2段階及び第3段階で合格となった者を除く全ての受検者

《伊勢まなび高等学校》

学 校 の 特 色	
○	三部制 午前の部・午後の部・夜間部のいずれかの部に所属し、1日4限の授業を受けることを基本とします。
○	三修制 自分の所属する部の授業以外に他の部の授業を受けることにより、3年間で卒業の資格を得ることが可能です。
○	単位制 各科目の履修条件に従って選択受講し、必修科目、選択科目を併せて74単位以上修得すれば卒業することができます。
○	多様な選択科目 伊勢まなび高校独自の学校設定科目などを含め、多くの選択科目を設けています。午前の部及び午後の部は普通科ですが、「ものづくり工学科」の授業（午後の部及び夜間部で開講）を選択することもできます。
○	学校外の学修の単位認定 高等学校卒業程度認定試験合格や実務代替、技能審査に関する学修などを、卒業に必要な単位数に加えることができます。

選抜において重視する要件	
〔普通科（午前の部・午後の部）、ものづくり工学科（夜間部）共通〕	
○	目的意識が明確で、学習意欲があり、自主性を有し、かつ本校での学校生活を適正に行える者

学 科 名	検 査	実 施 概 要
普通科 （午前の部） （午後の部） ものづくり 工学科 （夜間部）	面 接	個人面接（15分程度） 志望の動機、目的意識、意欲・関心等について応答する。
	作 文	45分・400字以内

学 科 名	選 抜 方 法						
普通科 （午前の部） （午後の部） ものづくり 工学科 （夜間部）	1 選抜資料の取扱い (1) 調査書 点数化する。 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: right;">評定（第1～3学年の各教科の評定を換算）</td> <td style="text-align: right;">30点満点</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">特別活動の実績</td> <td style="text-align: right;">最高 10点</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td style="text-align: right;">40点</td> </tr> </table>	評定（第1～3学年の各教科の評定を換算）	30点満点	特別活動の実績	最高 10点	合 計	40点
	評定（第1～3学年の各教科の評定を換算）	30点満点					
特別活動の実績	最高 10点						
合 計	40点						
	(2) 面 接 次の3つの項目について評価し、点数化する。（45点満点） <ul style="list-style-type: none"> ・ 興味・関心・理解（志望動機など） ・ 意欲（積極性など） ・ 態度（言葉遣いなど） 						
	(3) 作 文 次の3つの項目について評価し、点数化する。（30点満点） <ul style="list-style-type: none"> ・ 述べられている内容 ・ 表現の的確さ、明瞭さ ・ 文章の構成 						
	2 選抜方法 (1)～(3)の合計点数をもとに、調査書及び「自己推薦書」の記載事項を考慮して総合的に選抜する。						

通信制課程

《北星高等学校》

学 校 の 特 色
<p>学校として弾力的なカリキュラムを設定し、生徒一人ひとりの持ち味を生かした「あなたならではの学び」をつくりだせるように支援します。</p> <p>また、社会に出て自立できる力を身につけられるように支援します。</p> <p>○ 日曜日だけでなく平日登校も可能 スクーリングは基本的には日曜日に設定されていますが、木曜日に登校する平日コースもあります。また、火曜日には補助スクーリングがあります。更に、定時制課程の科目を併修することができ、卒業に役立てることができます。</p> <p>○ 単位制・三修制 選択科目は自由に選んで学習することができます。学年はありません。必修科目も含めて74単位以上の履修・修得で3年間での卒業が可能です。</p> <p>○ 特徴ある科目 「心理学基礎」「韓国語」など、多様で独特な学校設定科目を選択科目として選べます。</p>

選抜において重視する要件
<p>(普通科)</p> <p>○ 夢の実現をめざし、通信制の特色をよく理解し、本校で学び成長する意欲がある者</p>

学 科 名	検 査	実 施 概 要
普 通 科	自己表現	自己表現（3分）＋個人面接（5分程度） 「自己表現」は、事前課題に基づき、各自が準備した作文（課題作文）を持参し、発表する。

学 科 名	選 抜 方 法
普 通 科	<p>1 選抜資料の取扱い</p> <p>(1) 調査書 点数化せず、選抜において資料とする。</p> <p>(2) 自己表現 次の①、②の点数を合計する。</p> <p>① 自己表現の部分は、次の5つの項目について評価し、点数化する。(60点満点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 課題との整合性 ・ 表現力（発表時間を含む。） ・ 具体性 ・ 意欲 ・ 独創性 <p>② 個人面接の部分は、次の4つの項目について評価し、点数化する。(90点満点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本校（通信制課程）についての理解 ・ 志望の動機、目的意識 ・ 高校生活に対する意欲・向上心 ・ 面接態度 <hr/> <p>2 選抜方法</p> <p>(2)の自己表現による点数をもとに、調査書及び「自己推薦書」の記載内容を考慮して総合的に選抜する。</p>